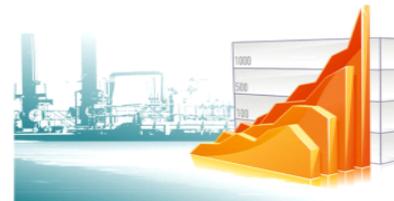


岐阜県経済の現状



平成24年1月
岐阜県商工労働部

企業等へのヒアリングは1月12～13日を中心に実施しています。

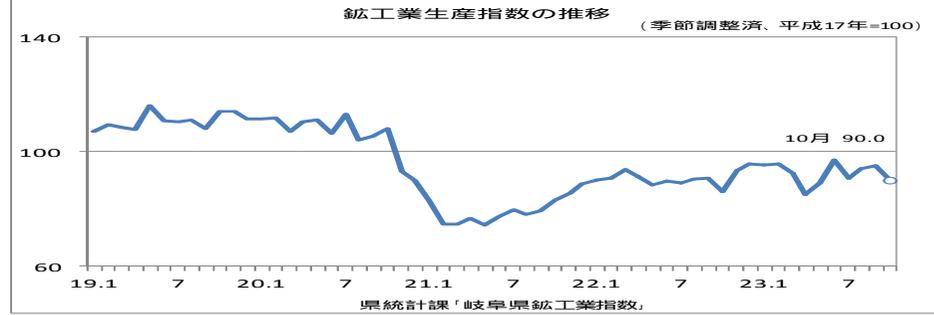
景気動向・製造業

10月の景気動向指数(CI、一致指数)は91.4と前月から0.6ポイント下降。また、県内中小企業の景況感(景況感DI)は、10ポイントの悪化。

9月の鉱工業生産指数は、90.0と3カ月ぶりに低下。一方、製造業、非製造業はともに売上げが回復傾向。



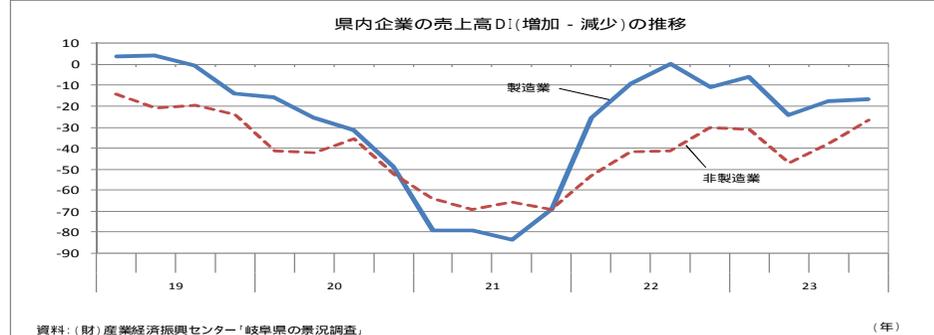
資料: 県統計課「岐阜県景気動向指数」



県統計課「岐阜県鉱工業指数」



資料: 岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」



資料: (財)産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

(年)

現場の動き

タイの子会社の生産について、12月は挽回計画等もあり当初比50%の増産。

売上はピーク時の約110%で好調に推移し、当面この水準が続くと見込む。

航空機関連はB787や三菱MRJの受注が増え盛況かつ順調だが、コストダウン要求が厳しいため今後売上は減少するかもしれない。

1月度の国内生産はエコカーを中心に当初計画以上に受注している。タイの洪水で被災した現地法人は復旧に数カ月かかる模様。韓国向け輸出は引き続き好調に推移している。国内向けも今のところ衰えは見受けられない。ただし、タイの洪水の影響で完成品メーカーが生産のペースダウンを公表していることから、今後伸び悩みとなることが懸念される。

タイの洪水により部品調達に支障が生じた影響で12月も生産調整が続くが、1月以降は年度末需要で増産が見込まれる。

タイの洪水の影響は、11月を底に回復し始め、1月中には洪水前の状況まで完全に戻る予定である。(以上、自動車用部品)

売上はピーク時の80%程度の水準に回復した。今後1~2カ月は微増を見込む。(電気機械)

売上はピーク時並みの水準に戻っており、震災やタイ洪水による増減の影響は既に平準化された。(非鉄金属)

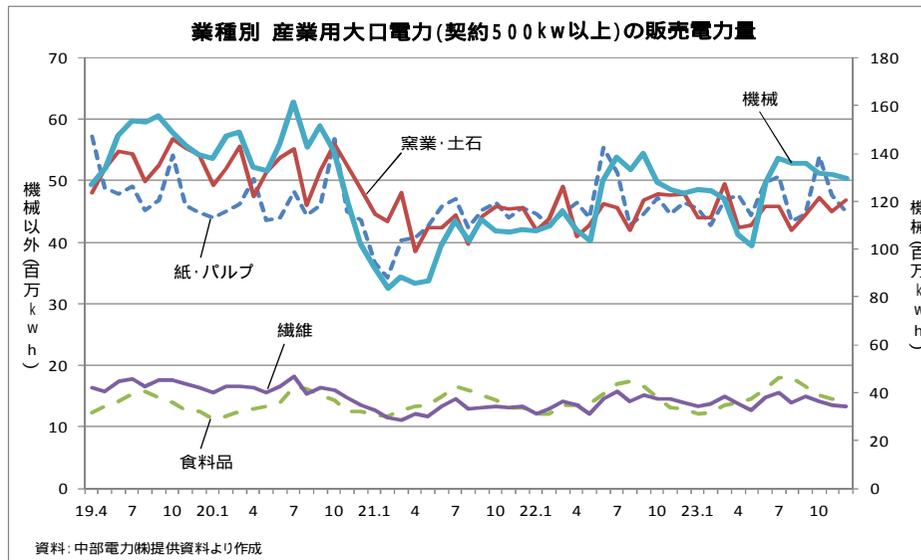
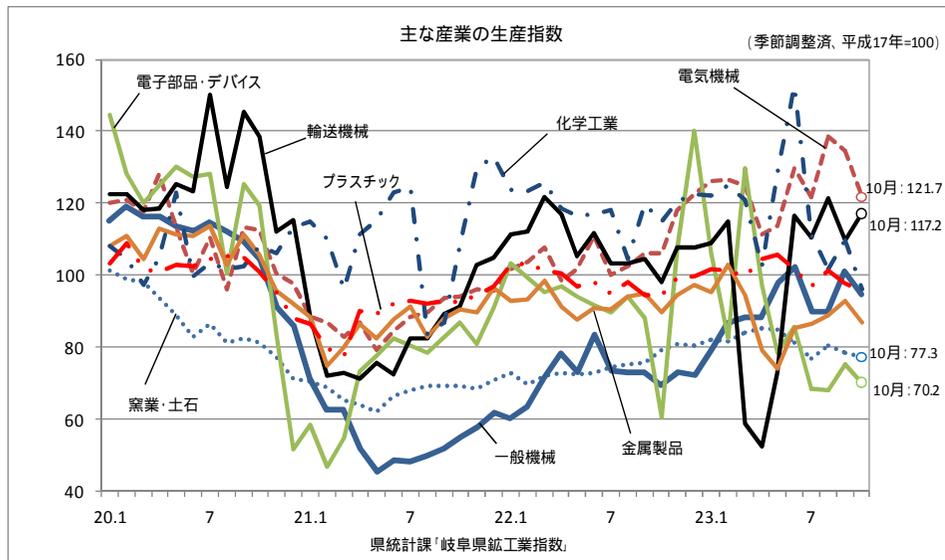
売上は中国向けが一時的に落ち込んだ影響で減少したものの、2月以降は過去最高水準まで戻ると見込んでいる。(金属製品)

被災したタイ工場のバックアップのため、出荷量が1割増加。震災直後の休業巻き替えもあり、出荷量は15%増。(プラスチック)

製造業 - 2 (業種別)

10月の生産指数は、輸送用機械が上昇したものの、電気機械や一般機械等幅広い業種で減少となった。

12月の工場向け販売電力量は、機械や食料品が前年同月比で増加。一方、窯業・土石や紙・パルプ、繊維は減少。



現場の動き

製造コストは上がっているが、小売価格が上がらないので、卸価格を上げられない。売上を伸ばしても利益が上がらず厳しい状況。(アパレル)

売上は昨年から伸びているが利益の伸びは少ない。特に海外向けについては円高の影響で利益が減少している。

今年前半の景気見通しは暗い。後半も期待できないが、自社努力でカバーしたい。(以上、刃物)

企業の買い控えにより業務用製品の売上が低迷。震災以降、国内全体が疲弊し器などを買替える余裕がない。(陶磁器)

春商品の出荷が最盛期を迎えており、大変繁忙である。業況にバラつきはあるが、平均すると前年よりプラス。(紙関係)

業況は、昨年対比で10%以上の受注がずっと続いている。生産はフル操業で、残業、休日出勤で対応。

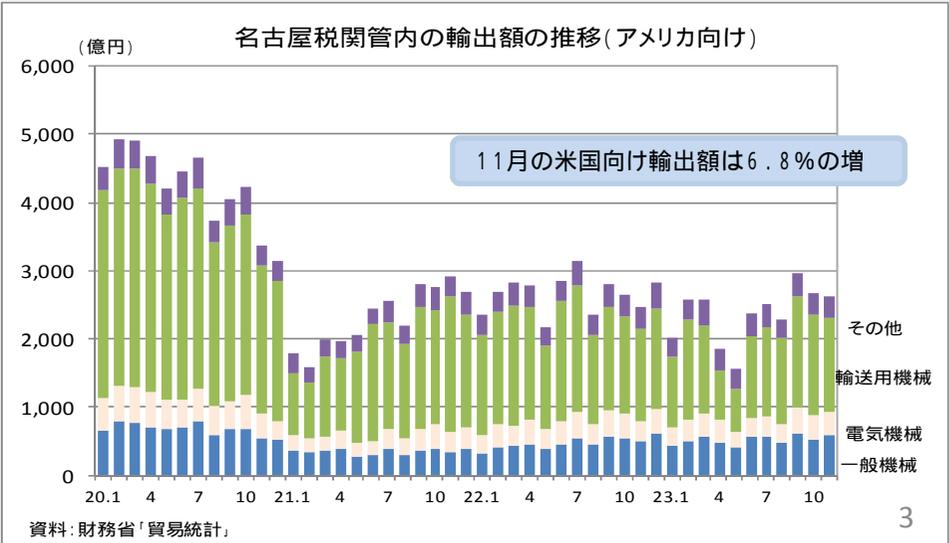
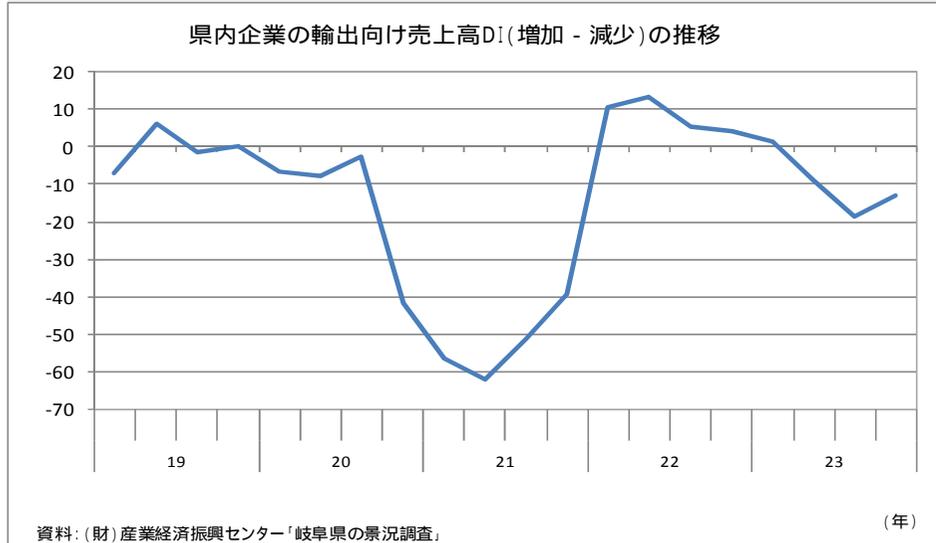
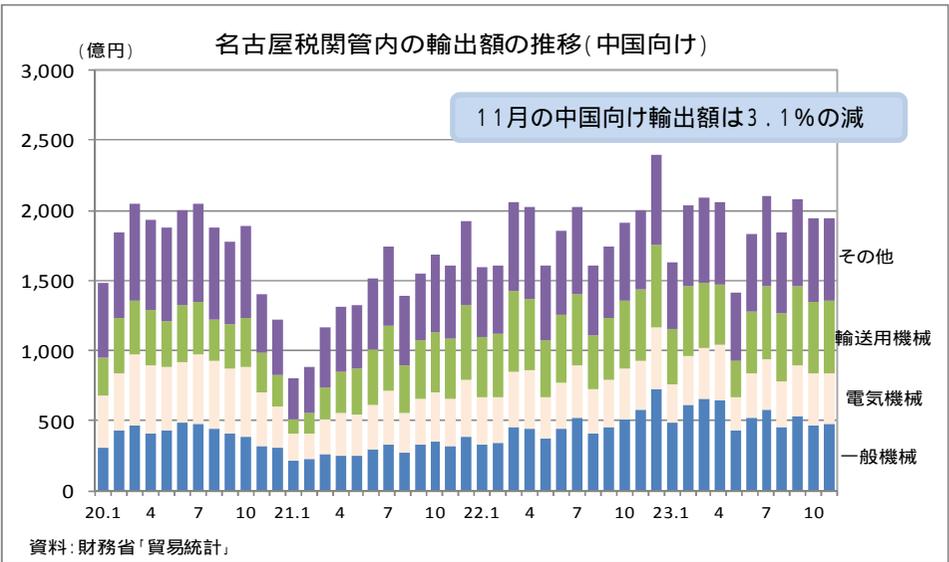
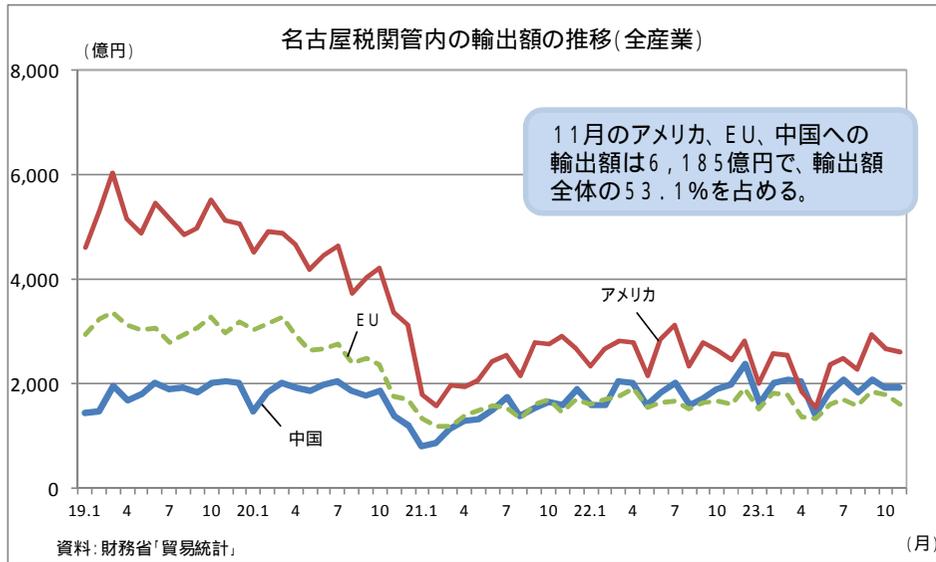
業界内において廃業や事業縮小で供給側が少なくなりつつある。(以上木工)

昨年後半以降売上が下降し、厳しい状況が続いたが、現在もその状況が続いている。

少子化で学校給食での需要拡大が難しいため、販売先拡大や新商品開発で売上を維持したい。(以上、食品)

輸出

11月の輸出額(名古屋税関管内)は、11,639億円で前年同月比0.6%増。
 中国向けの輸出は一般機械が2カ月連続で前年同月比マイナスとなっており、回復基調に陰りが見えている。一方、アメリカ向けの輸出は主力の一般機械、電気機械、輸送用機械が全て増加した結果、3ヵ月連続で前年同月比プラスとなっている。



円高の影響

円高対応に関する基本方針は、「現地市場向けは極力現地で対応する。国内空洞化による生産量・雇用の維持を新技術・新製品・多角化等で極力現状維持を図る。」としている。

円高の影響でトヨタ自動車が部品発注を海外企業へ徐々にシフトしていく可能性もあり、受注が減るのではないかと不安。

当社も安い海外製の輸入比率を増やしており、国内素材メーカーも生産拠点を海外に移す動きが出ている。

円高の影響で、コストダウン要求が一層厳しくなっている。(以上、自動車部品)

円高による直接的な影響はないが、取引先メーカーからのコストダウン要求が3月頃に行われるとの声が聞かれ始めた。(金属製品)

円高により顧客(工作機器メーカー)の海外向け生産の伸びが鈍化している。(はん用機械)

長期的な円高により輸出の業績の落ち込みが著しい。(アパレル)

円高の影響で輸出は非常に厳しい。1ドル=100円を切ったところから厳しい状況が続いており、以前70%あった海外輸出は徐々に落ち込み、現在では国内売上を下回っている。(刃物)

高山の家具であることが大事なので、海外での生産は考えていない。

資材調達で楽になっている。(以上、木工)

ユーロ安の影響で、外材を扱う工務店は恩恵を受けている。(木材加工業者)

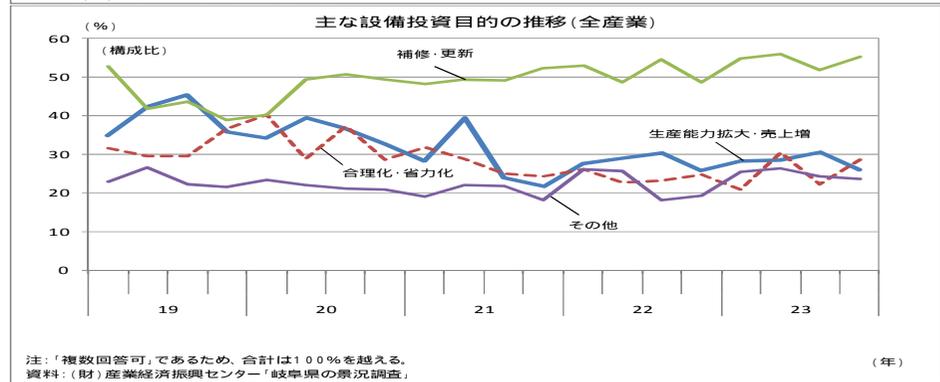
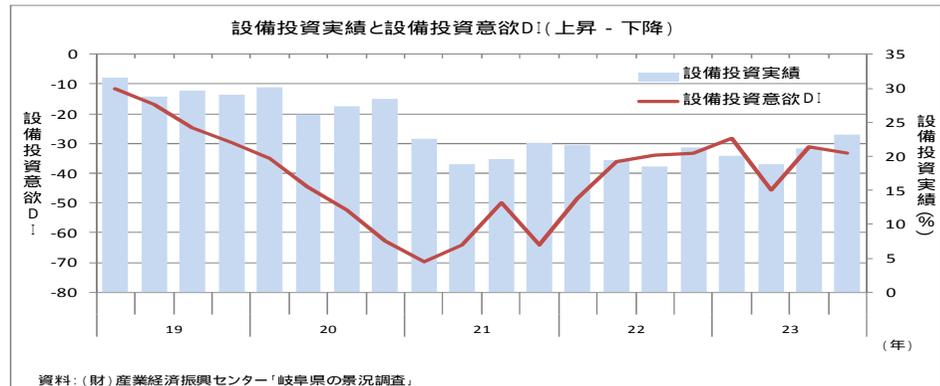
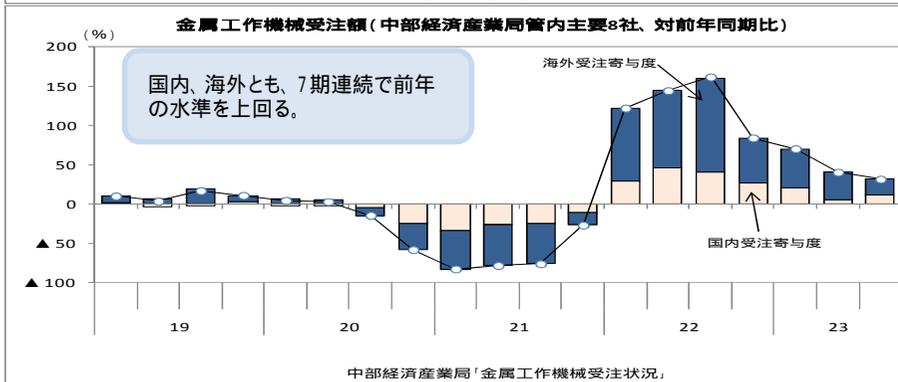
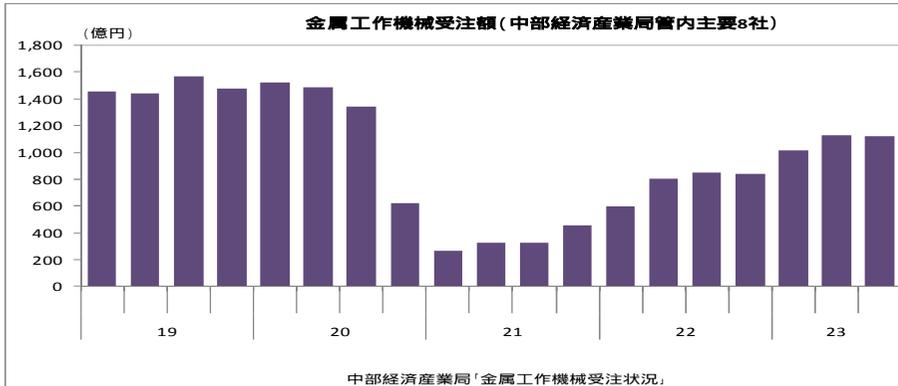
輸入原料を使用しているが、直接的な円高の恩恵はない。(以上、食料)

円高は、輸入飲料等の仕入れ値が下がるのでありがたいが、売値も下がっているので収益率は変わらない。(商店街)

設備投資

生産用機械の受注額は、海外受注に牽引される形で回復基調が続いている。
設備投資意欲DIは、改善に転じた。

県内企業の設備投資は「補修・更新」といったやむを得ない理由が多く、「生産能力拡大・売上増」など、前向きな設備投資は回復の足取りが重い。



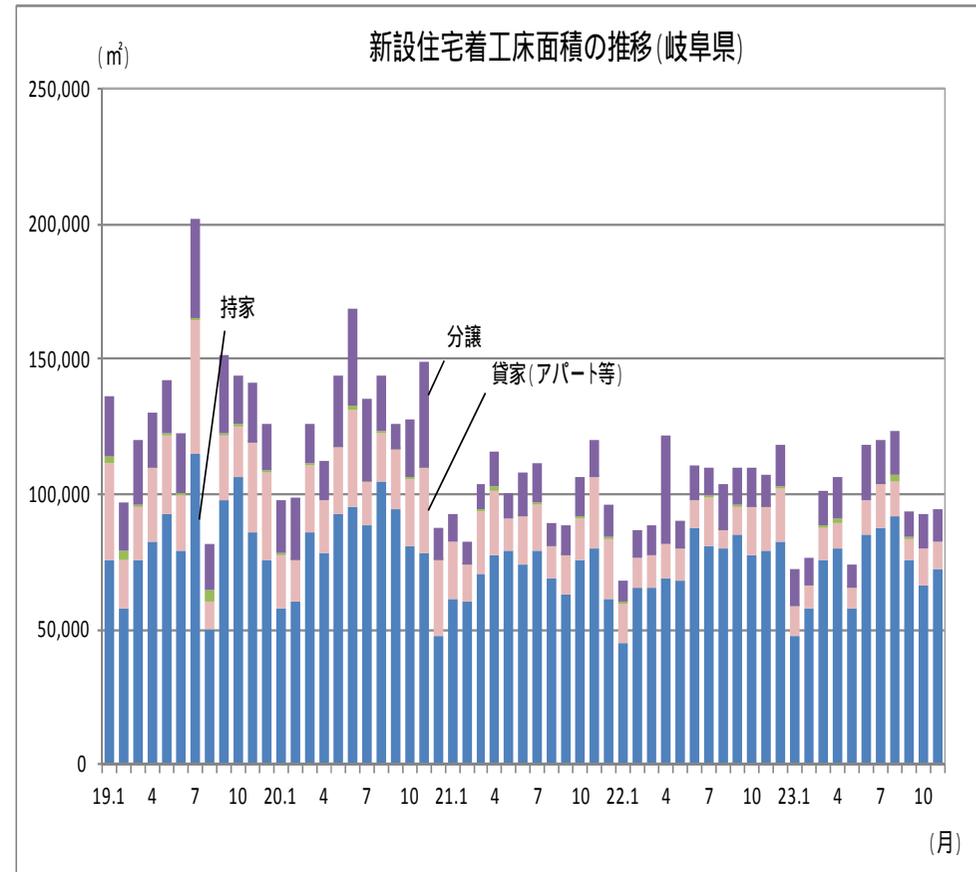
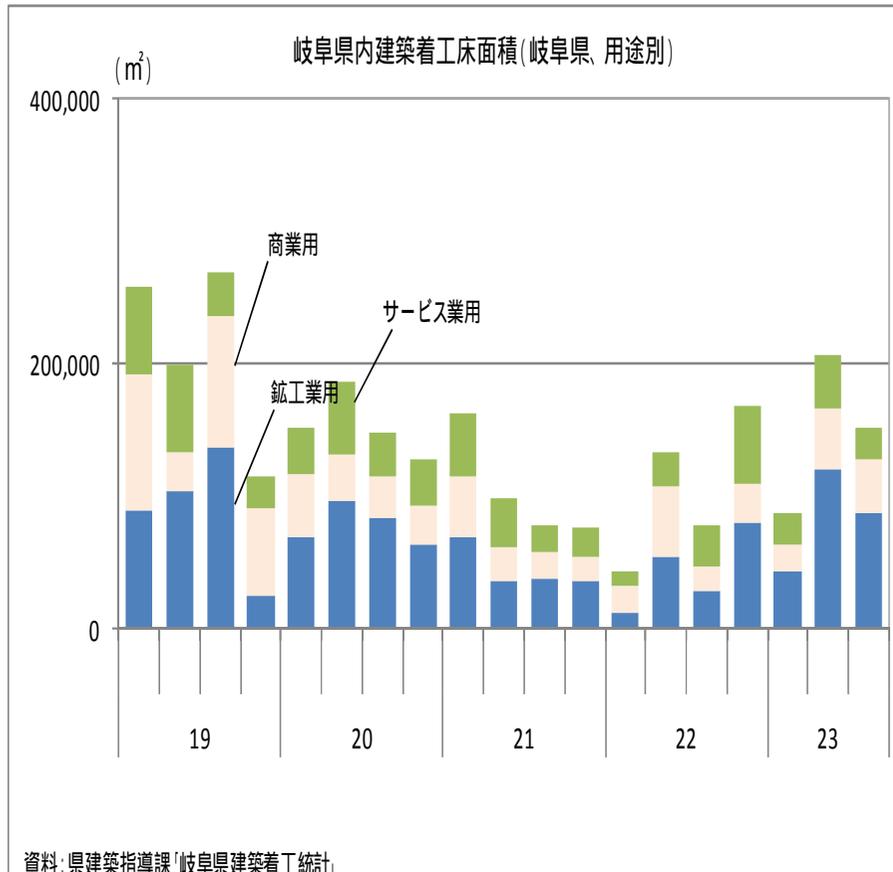
現場の動き

中国からの受注は、金融緩和策が出されたものの、まだ低迷したままである。 タイの洪水の影響で受注が急増(特需)した。
タイの洪水で家電メーカーの工場操業停止があり輸出がストップした。
中国の建設機械の需要が落ち込み、油圧部品の輸出が大幅に減少した。(以上、生産用機械)
自動車関連の海外工場向け設備品の受注が増えている。
中国経済の沈静化のために、11月以降売上が落ち込んでいる。
円高により顧客である工作機器メーカーの海外向け生産の伸びが鈍化している。(以上、はん用機械)

住宅・建築投資

23年7 - 9月期の建築着工は、サービス業用が若干減少したものの、鉱工業、商業用がともに増加し、前年同期に比べ大きく増加。

11月の住宅着工は、持家が9.1%減、貸家が35.0%減となり、全体で前年同月比マイナス12.0%と3ヵ月連続の減少となった。

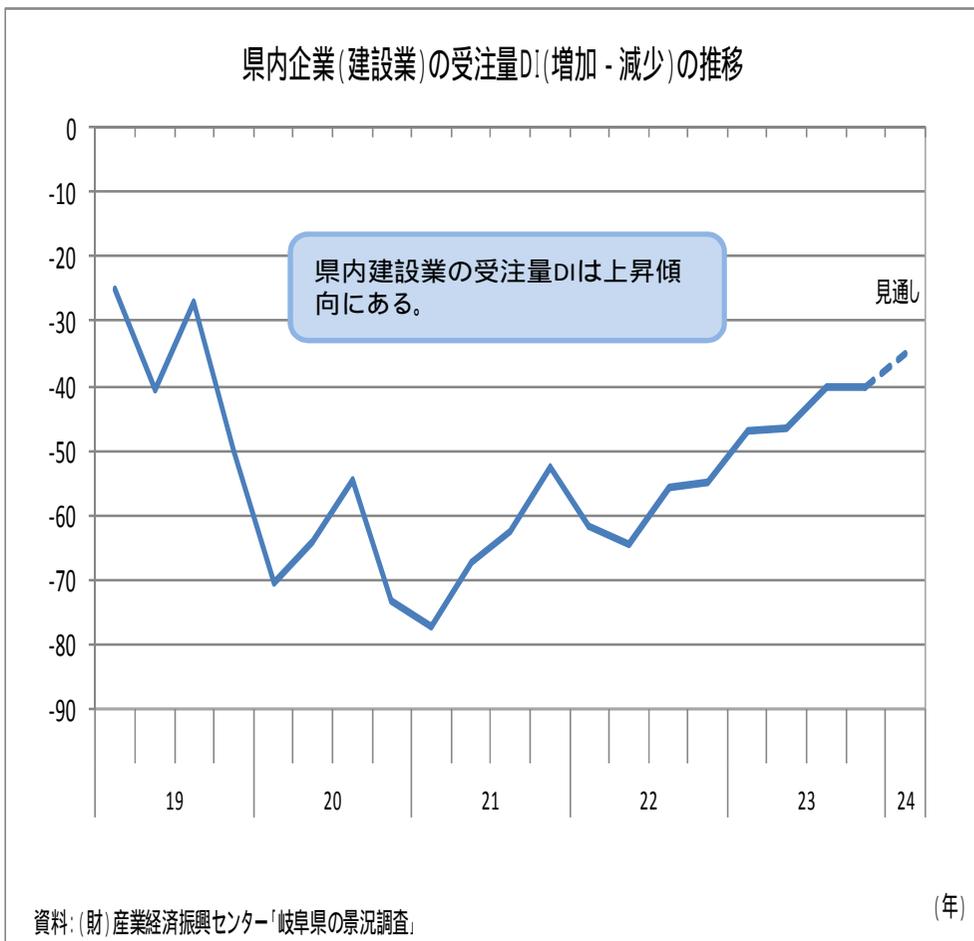
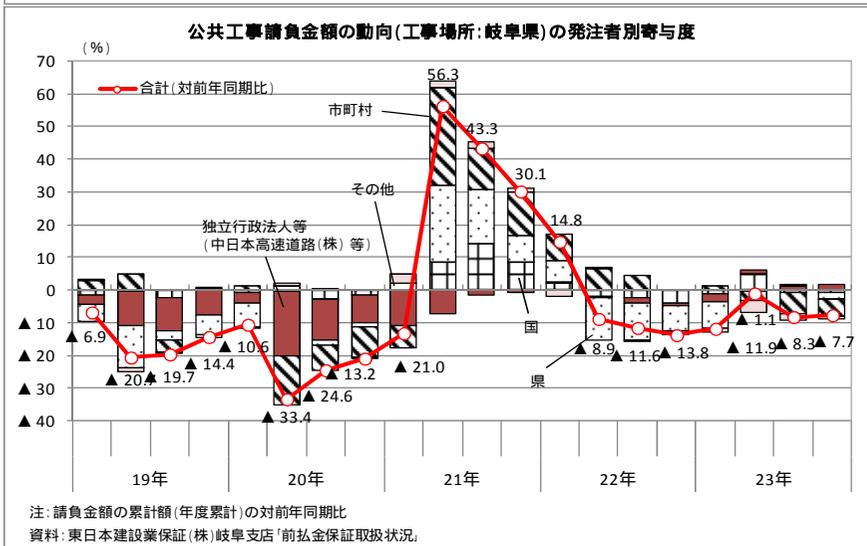
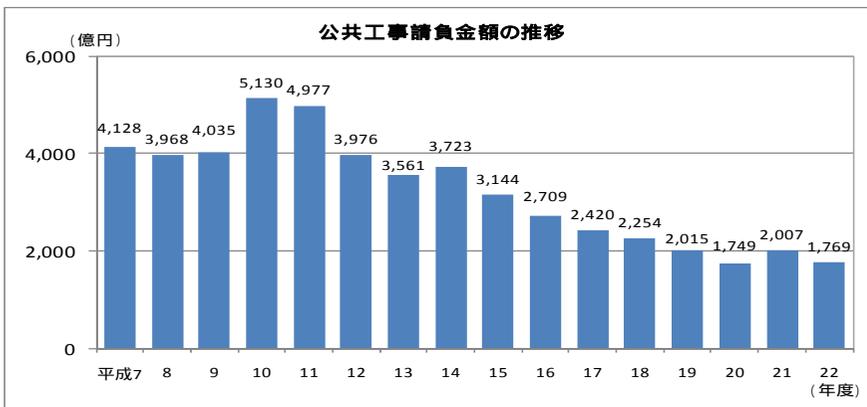


現場の動き

住宅業界はここ2～3年堅調であり、業界再編が進むとみている。(木材加工業者)

公共工事

22年度内に県内で実施された公共工事請負金額は1,769億円で2年ぶりに減少に転じた。
 23年10 - 12月期の公共工事請負金額は、前期に引き続いて市町村の発注が前年同期から大きく減少したため、対前年同期比7.7%減と7期連続で前年同期の水準を下回る。



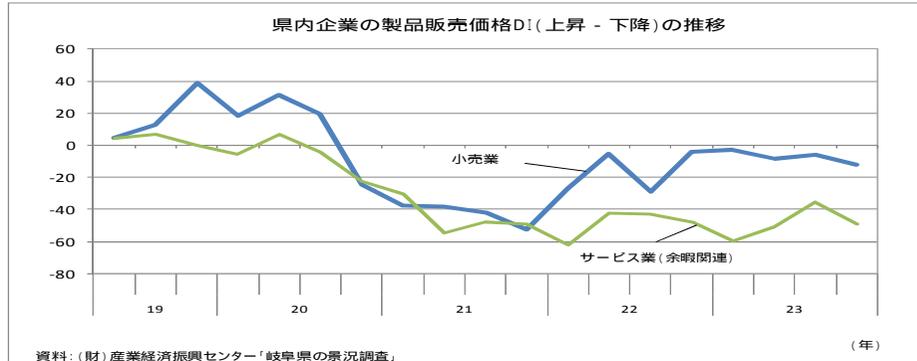
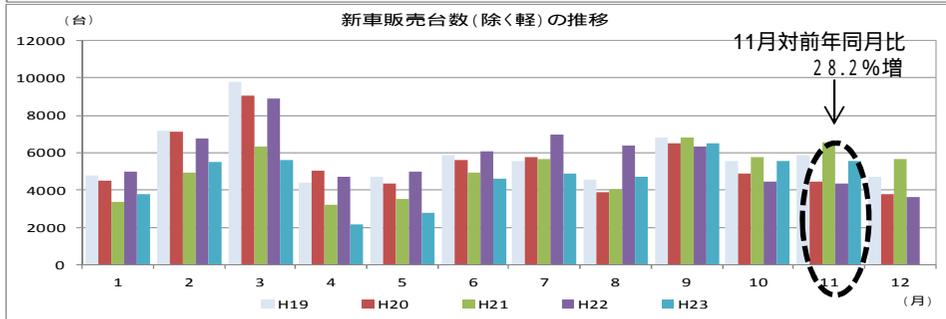
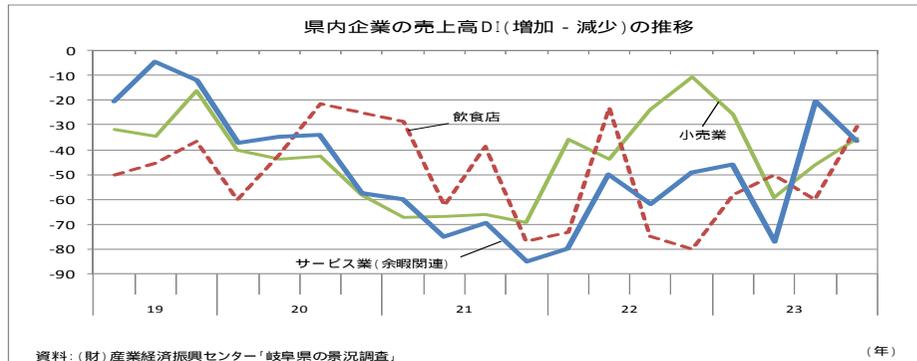
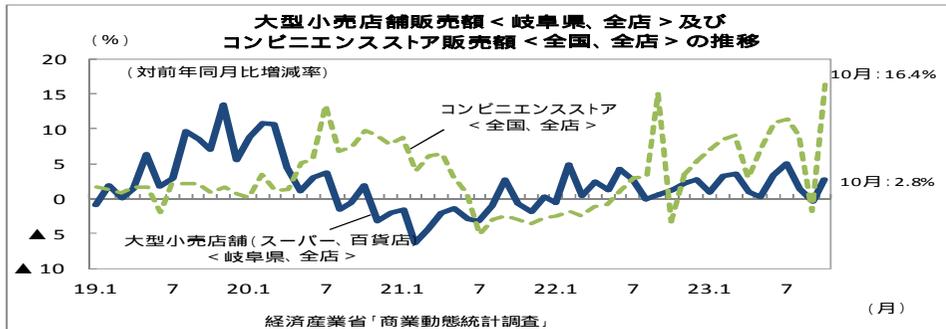
現場の動き

早期発注の取組みに伴う発注があったものの、全体予算が縮小されているため1月以降の公共工事の発注減が予想される。今後、国の第3次補正予算成立に伴う公共工事の発注について期待している。(業界団体)

個人消費(流通・小売)

10月の大型小売店販売額は、対前年同月比2.8%増と2ヶ月ぶりの増加。11月の自動車販売は前年同期比28.2%の増加。

平成23年第 四半期の小売業・飲食店の売上は、引き続き持ち直しの動きが見られる一方、販売価格は下降気味で推移している。



現場の動き

大型店では、クリスマス関連や年末・正月関連商品が好調で売上が増加しているものの、商店街の売上は芳しくない。(小売店総括) 荷物の量が伸びていない状況で、今後の見通しもあまり明るくない。(流通総括)

年末に寒くなり、冬物衣料や鍋関係が良く売れた。クリスマス関連では、クリスマスグッズ、ゲーム機、キャラクター物のおもちゃが良く売れた。売上、来客ともに前年と比べて好調であった。

フードコートやレストランは好調だが、レディースの冬物が苦戦している。

売上は前年を上回った。特にクリスマス関連の雑貨、正月関連のおせちが好調であった。(以上、大型小売店)

イベント開催により客数は増加しているが、個店に入らないため売上は伸びていない。(柳ヶ瀬商店街)

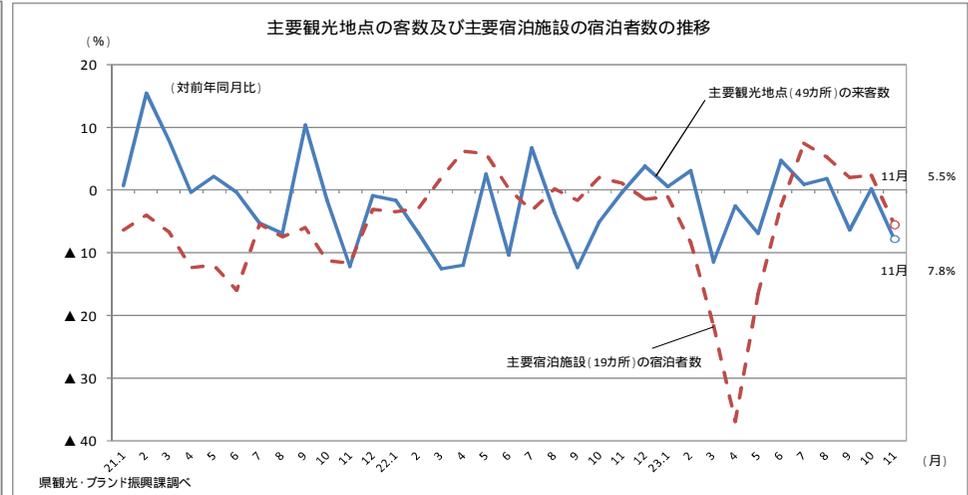
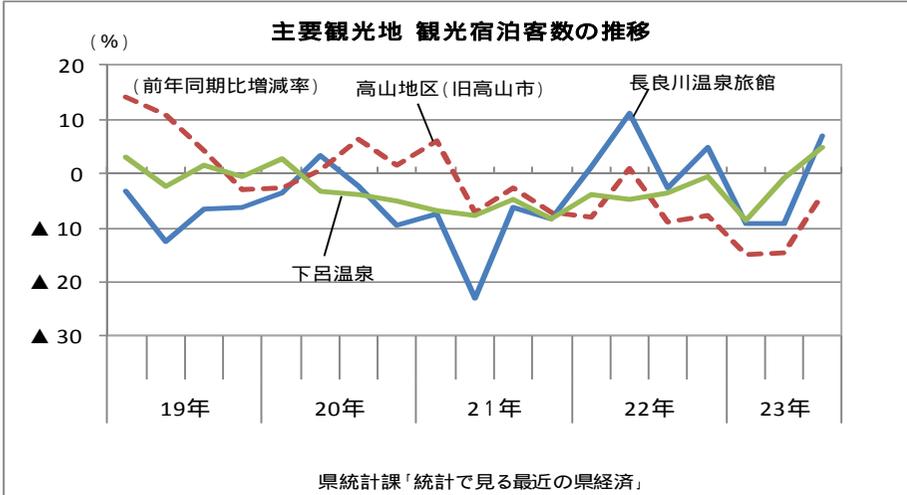
イベント開催により客数は増加しているが、単価は下がる傾向にある。(大垣の商店街)

飲食業は比較的良かったが、物販業は客単価が低いため売上増にならない。(高山市)

観光

平成23年第 四半期の宿泊客数は、長良川温泉が前年同期比6.8%増、高山地区(旧高山市)が3.9%減、下呂温泉4.9%増と全ての地域で改善傾向にある。

主要観光地における11月の観光客数は、前年同月比7.8%減と2ヶ月ぶりに前年同月を下回る。主要宿泊施設における宿泊者数も、同 5.5%減と5ヶ月ぶりに前年を下回る。



現場の動き

インターネット予約が引き続き好調で、年末年始は満室となった宿泊施設もみられた。一方、忘年会や新年会など宴会予約は大口を中心に鈍く、宿泊動向にも影響が及んでいるところもみられる。インバウンドは震災前の水準を依然として下回っているものの、旧正月の時期を中心に予約が入るなど緩やかながら持ち直しの動きが続いている。(宿泊施設の総括)

年末はほぼ満室となった。 年末年始を含め、個人の動向は前年よりも好調。(以上、岐阜市内の宿泊施設)

12月～1月の国内の宿泊予約動向はインターネット予約を中心に個人が好調で、全体を押し上げている。

12/28～1/4までは個人客で満室となった。インターネット予約も対前年比6%増と好調。(以上、高山市内の宿泊施設)

年末年始は12/31～1/2に集中。それ以外は間際予約をどれだけ確保するのが勝負。

忘年会は特に法人関係において自粛傾向がみられ、日帰り・宿泊とも少ない。(以上、下呂市内の宿泊施設)

経費の都合上、例年ほど広告を出せず、忘・新年会は前年を下回っている。(奥飛騨の宿泊施設)

地元の企業の景況が冷え込んでおり、宴会予約が少ない。(恵那市内の宿泊施設)

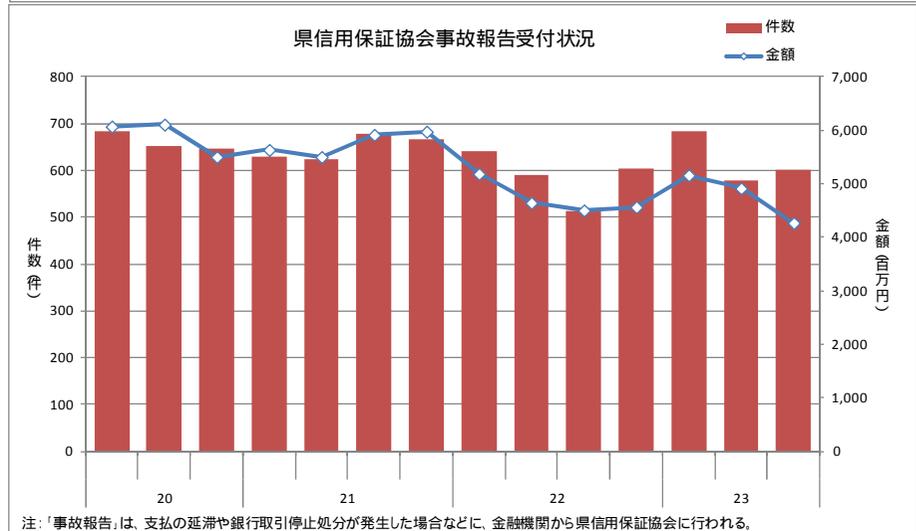
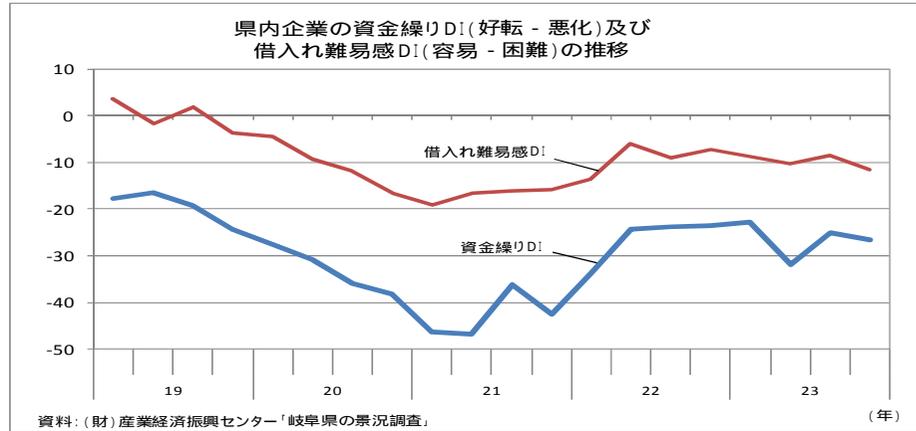
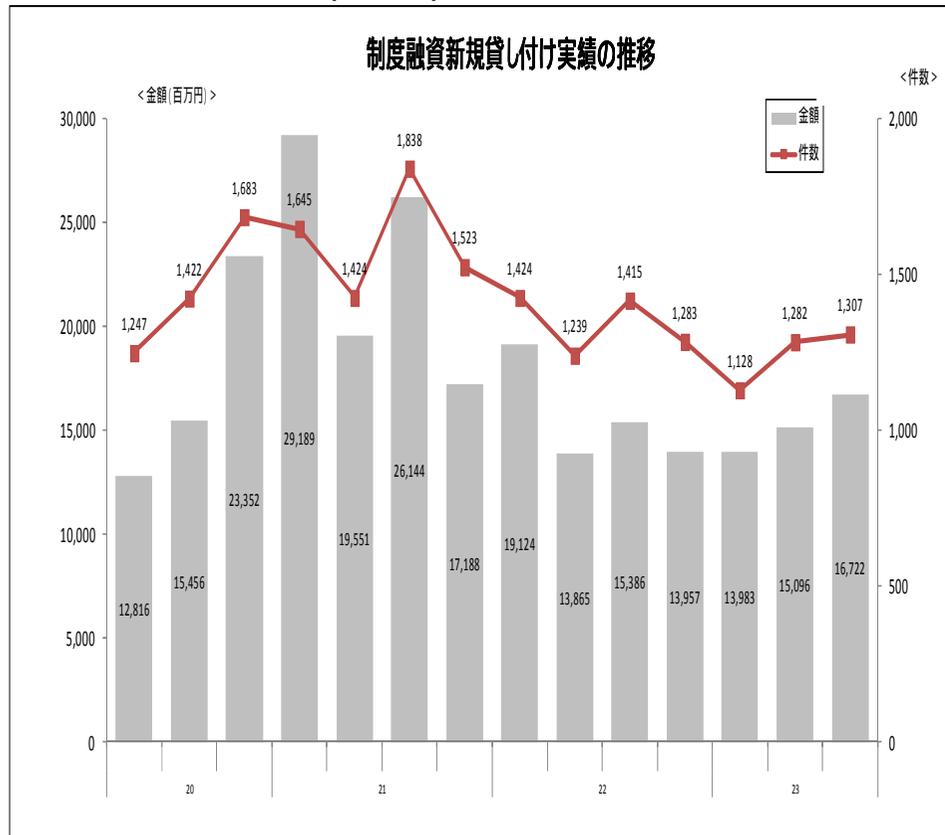
インバウンドは旧正月を中心に好調に予約が入っている。(岐阜市内の宿泊施設)

円高の影響で欧米の団体からのキャンセルが発生した。(高山市内の宿泊施設)

資金繰り

新規融資実績は21年の秋口から沈静化が続いている。
 足元の資金繰り及び借入難易感は、横ばい傾向にあるものの、今期は若干のマイナスに転じた。

< 新規融資実績(月別) >



現場の動き

資金需要は相変わらず低調である。資金需要が高まる要因がないため、しばらくこの状況が続くのではないかと見られる。

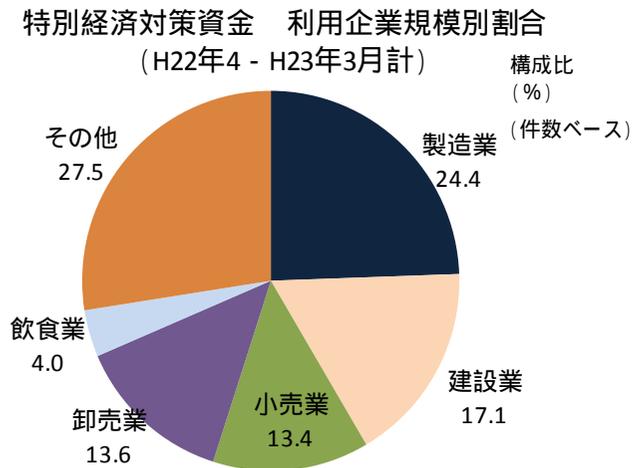
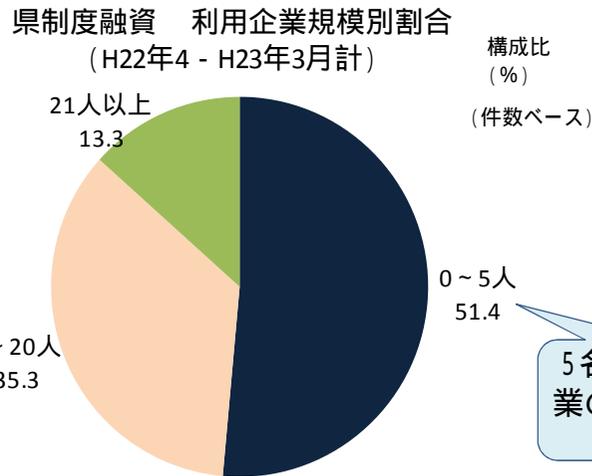
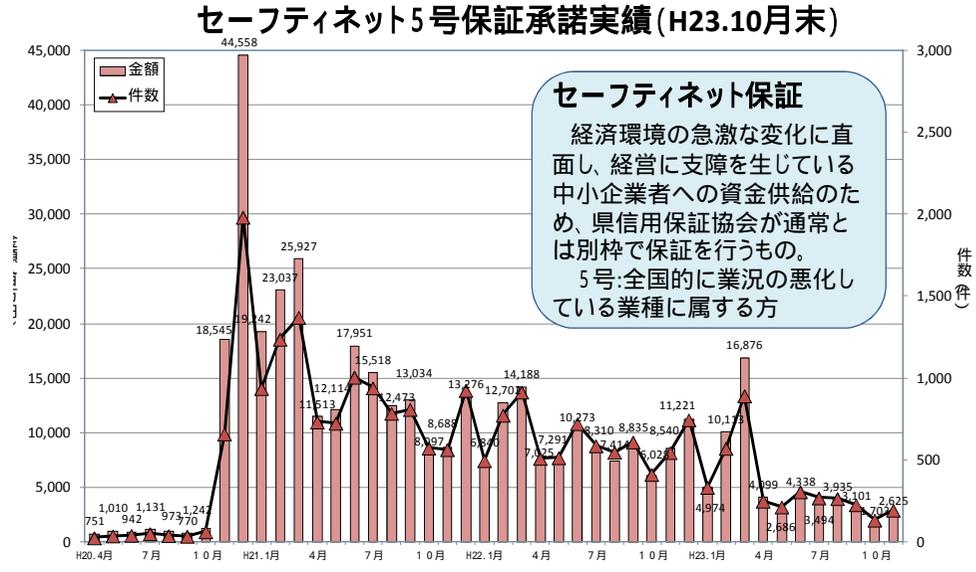
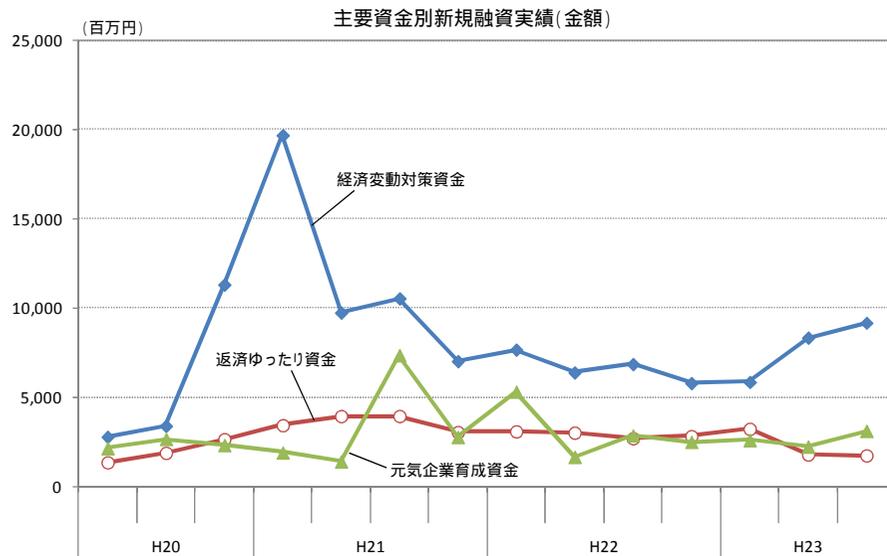
資金需要が高まる12月であるが、例年と比べて融資実績は少ない。

年末の休日窓口を開いていたが、相談も来店も0件だった。

金融円滑化法の再延長について、経営難にある事業者からの条件変更要請に適切に応じるというスタンスは法の有無に関わらず変わらない。しかし、メガバンクもその足並みに揃うという点では事業者の利点になっている。(以上、金融機関)

資金繰り - 2

資金繰りを改善するための運転資金である「経済変動対策資金」の融資実績は、21年秋以降減少傾向が続いているものの、直近は2期連続の増加となっている。
引き続き、製造業・建設業の利用が多く、従業員5名以下の零細企業が半数以上を占める。

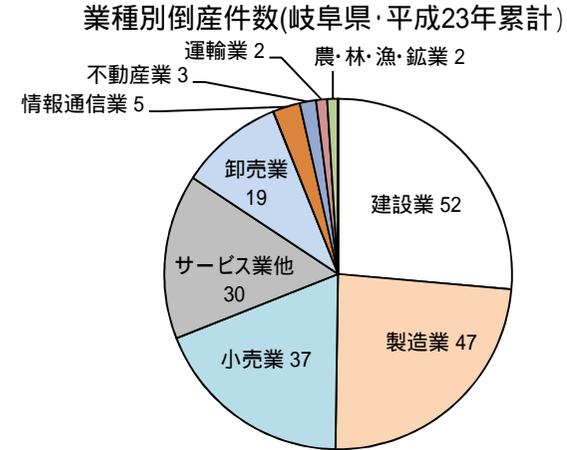


倒産

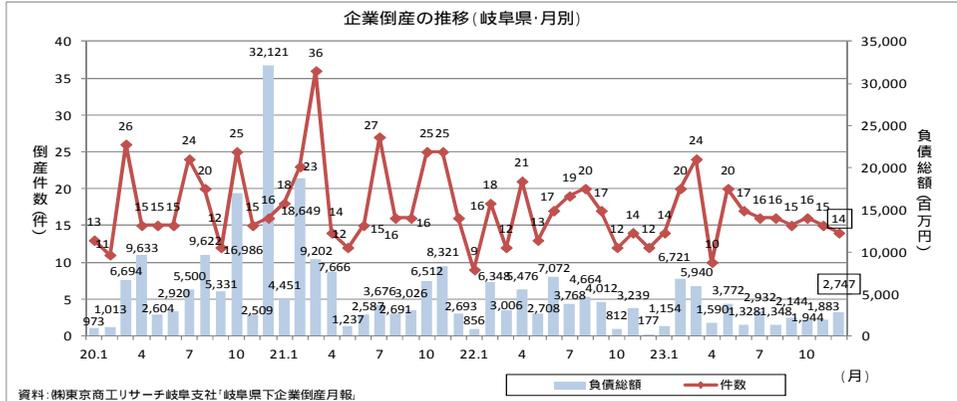
平成23年12月の倒産件数は前年同月12件から2件増加の14件であったが、5月以降7ヵ月連続して20件を下回った。

平成23年の倒産件数は197件で、前年から13件増加。負債総額は平成10年以降最も低い水準。

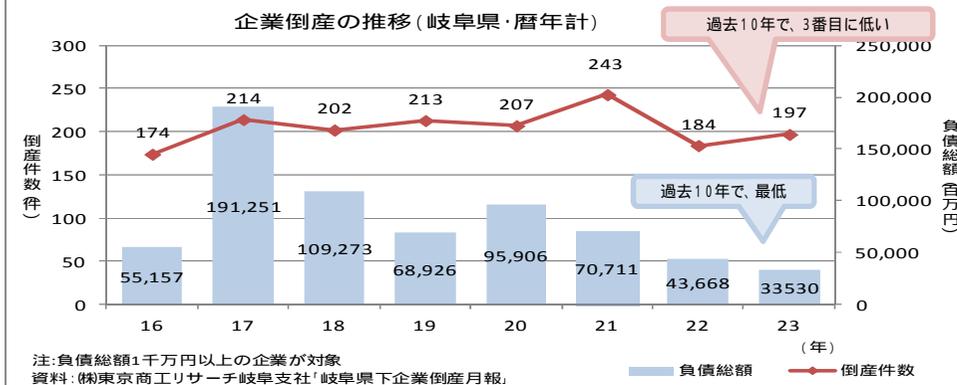
業種別では、建設業と製造業で約5割を占めている。



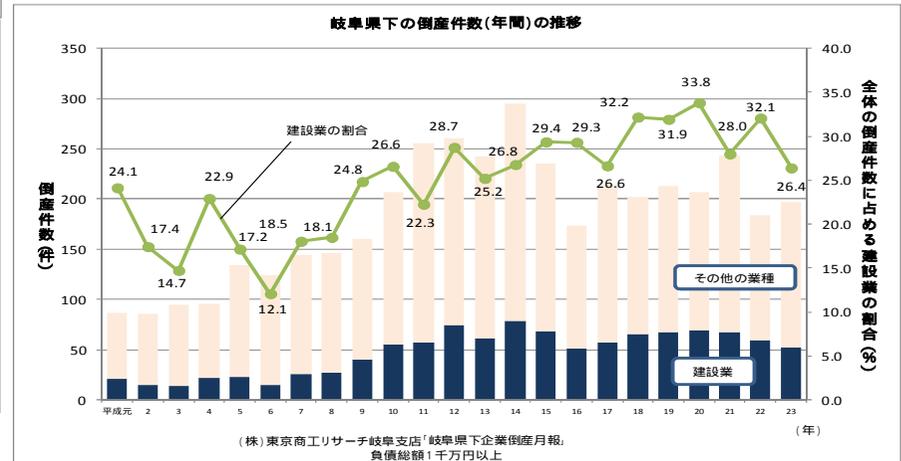
東京商工リサーチ「岐阜県下企業倒産月報」
負債総額1千万円以上



資料: ㈱東京商工リサーチ岐阜支社「岐阜県下企業倒産月報」



注: 負債総額1千万円以上の企業が対象
資料: ㈱東京商工リサーチ岐阜支社「岐阜県下企業倒産月報」



(株)東京商工リサーチ岐阜支社「岐阜県下企業倒産月報」
負債総額1千万円以上

専門機関の分析(東京商工リサーチ)

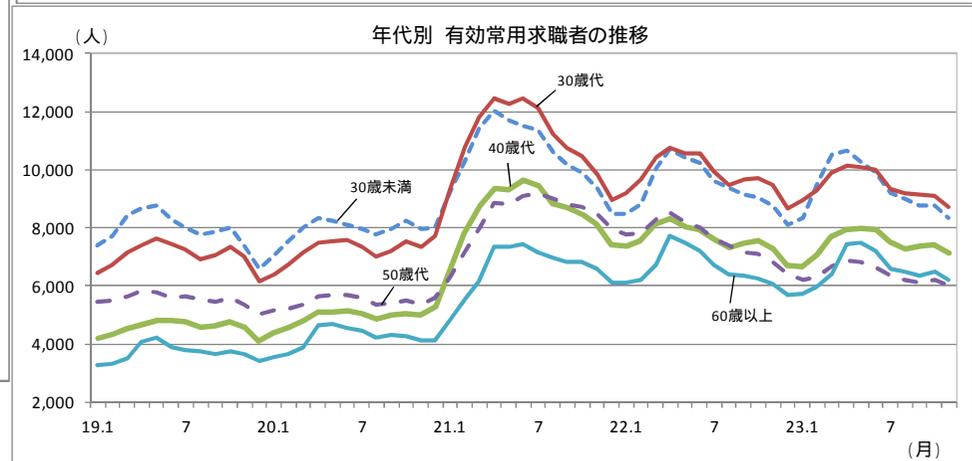
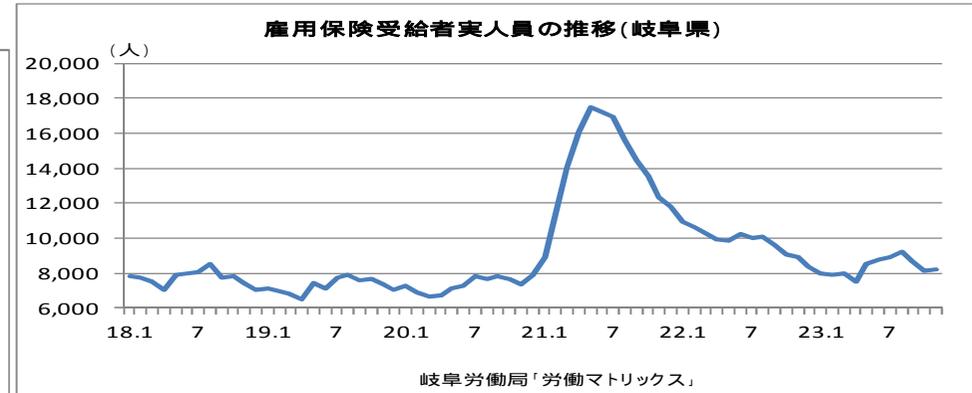
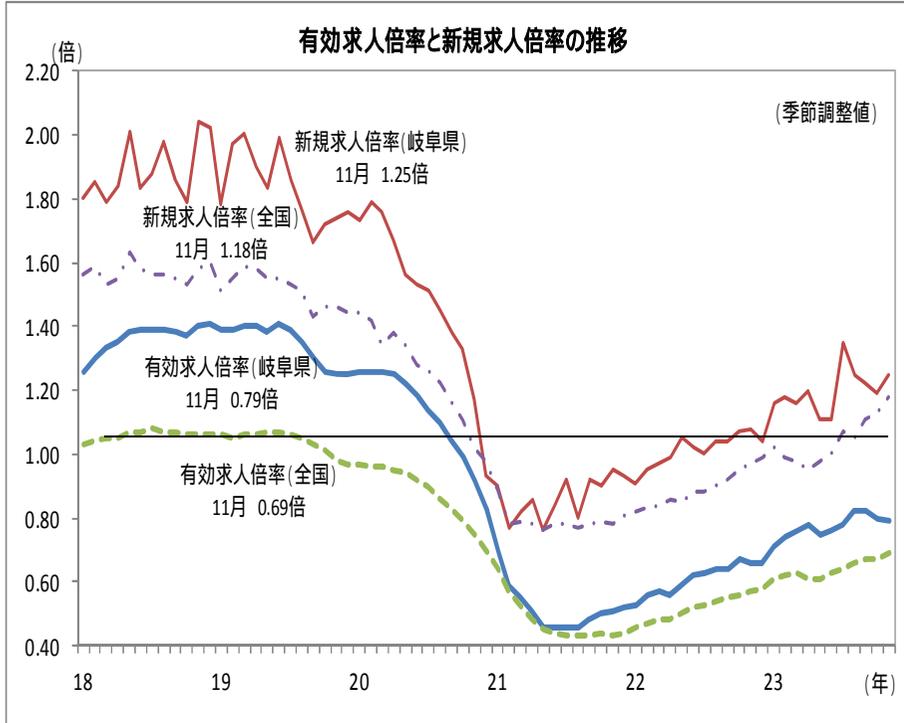
12月の県内倒産件数は14件と前月比1件減少、前年同月比では2件増加と引き続き沈静化しているものの、同月中に破産申請準備に入った企業や予備軍的な企業もあり、依然として経営環境は厳しさを増している。

体力の疲弊した中小・零細企業においては、経営改善計画の遂行に向けた取り組みの遅れから金融機関の与信見直しが進み始めて資金調達が間々ならないケースも想定され、企業倒産が更に増勢に転じる懸念も払拭できない。12

雇用

11月の有効求人倍率は0.79倍と前月から0.01ポイント下落。また、新規求人倍率は1.25倍と前月から0.06ポイント上昇。

11月の雇用保険受給者人員は8,196人と3カ月ぶりに増加した。

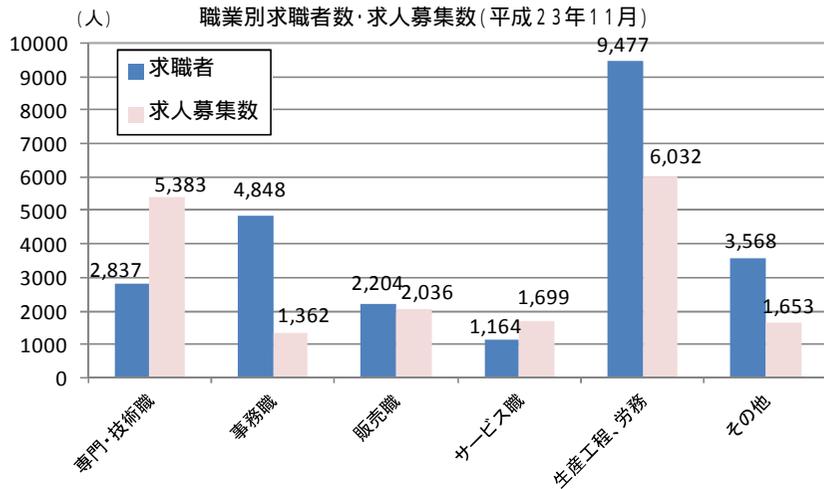


現場の動き

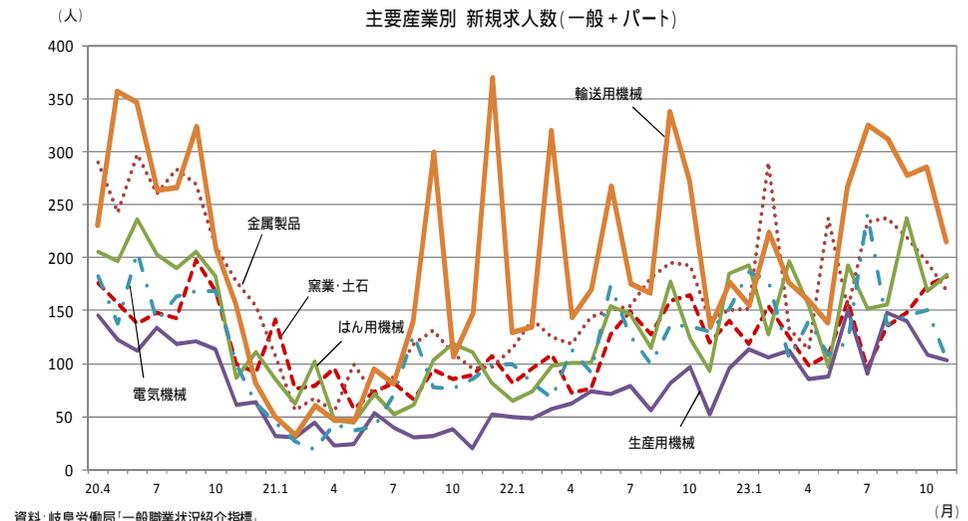
景気の先行きが不透明な状況を懸念し、雇用の拡大に慎重な企業の姿勢が目立つ。(聞き取り総括)
 円高、国内景気の動向が予断できないことから、雇用拡大に慎重な方向性は変わらない。
 派遣社員の管理者を募集しているが、応募があっても欲しい人材が見つからない。
 出荷量増加に併せて、残業が増えつつある。(以上、製造業)
 例年ではクリスマスや年末年始の販売職の依頼が増えるが、今年は比較的落ち着いていた。
 企業(特に中小企業)からは、業種を問わず「人が集まらない」という声がよく聞かれる。(以上、派遣会社)

雇用(職業別)

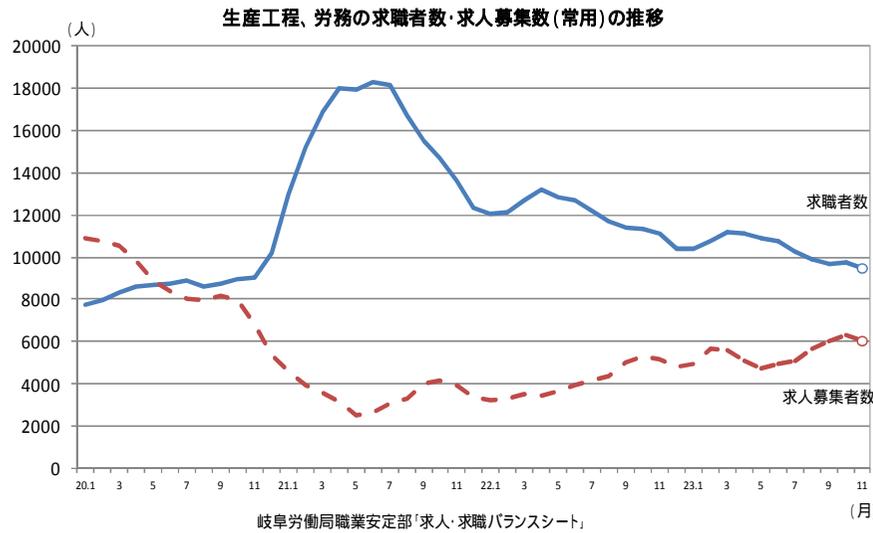
「生産工程・労務」における求職者数と求人募集数のギャップが依然突出。しかし、求職者数が減少傾向で推移する一方、求人数は増加傾向で推移しており両者の差は徐々に縮小。新規求人は輸送用機械の求人が他の業種に比べ、増減が大きい。雇用調整助成金は震災直後に急増したものの、5月以降減少傾向にある。



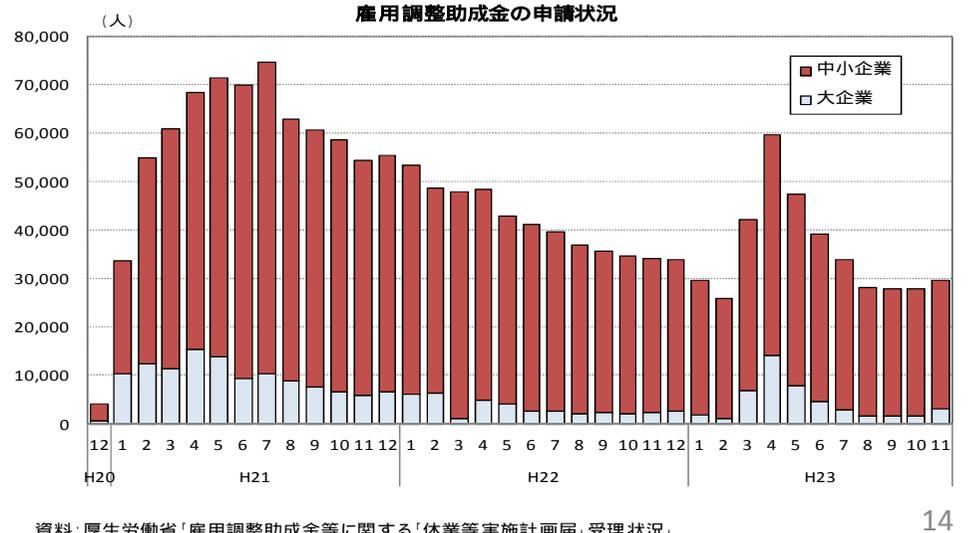
資料: 岐阜労働局職業安定部「求人・求職バランスシート」



資料: 岐阜労働局「一般職業状況紹介指標」

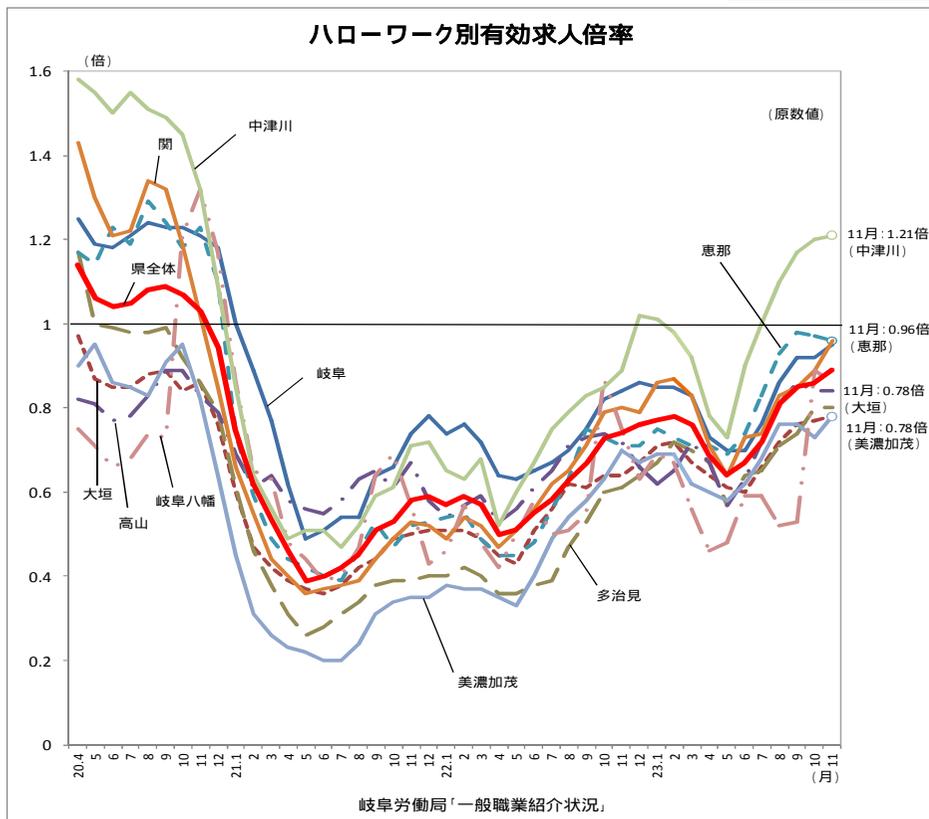


岐阜労働局職業安定部「求人・求職バランスシート」



資料: 厚生労働省「雇用調整助成金等に関する「休業等実施計画届」受理状況」

雇用(地域別)



<ハローワーク岐阜>

求職者数、求人数ともにほぼ横ばい。来所者は減少。
雇用保険受給者は減少。雇用調整助成金も減少。

<ハローワーク大垣>

求職者数はやや減少、求人数はやや増加。
雇用調整助成金の利用は減少。
雇用保険受給者は横ばいが続く。

<ハローワーク関>

求職者数は微減、求人数は減少。
雇用調整助成金は横ばいが続く。
雇用保険受給者は減少傾向。

<ハローワーク美濃加茂>

求職者数、求人数ともに微減。
雇用調整助成金の利用件数は横ばいが続く。
雇用保険受給者は微減。

<ハローワーク多治見>

求職者数は減少、求人数は増加。雇用保険受給者数はほぼ横ばい。
雇用調整助成金については、微増に転じた。

<ハローワーク恵那>

求人数は微減、求職者数は減少が続いている。
雇用保険受給者数は横ばい。雇用調整助成金は若干減少した。

<ハローワーク中津川>

求職者数は減少し、求人数は増加している。
雇用調整助成金、雇用保険受給者数についてはともに落ち着いている。

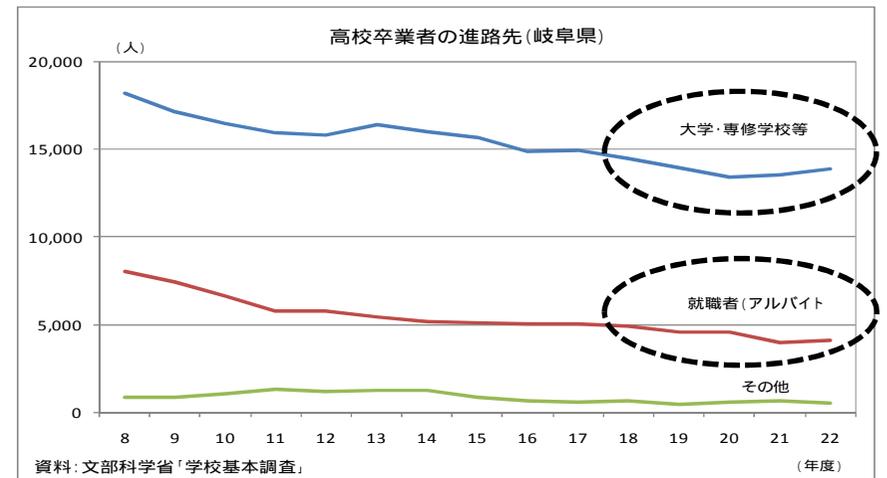
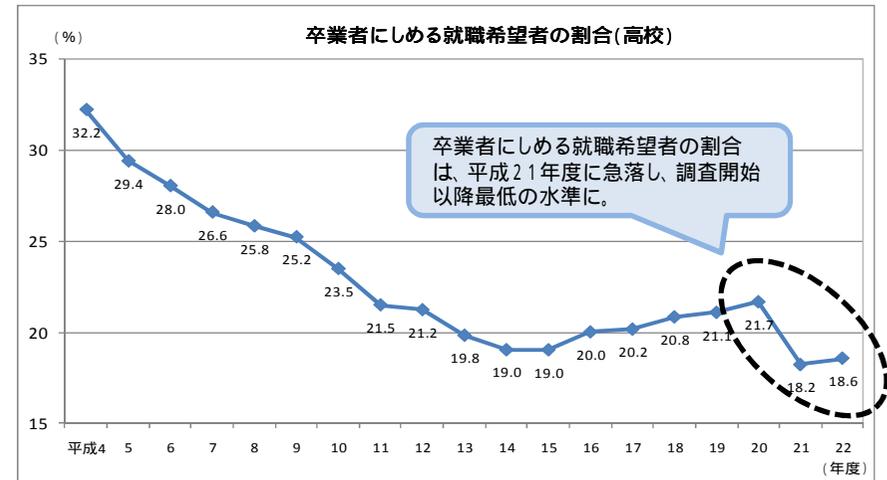
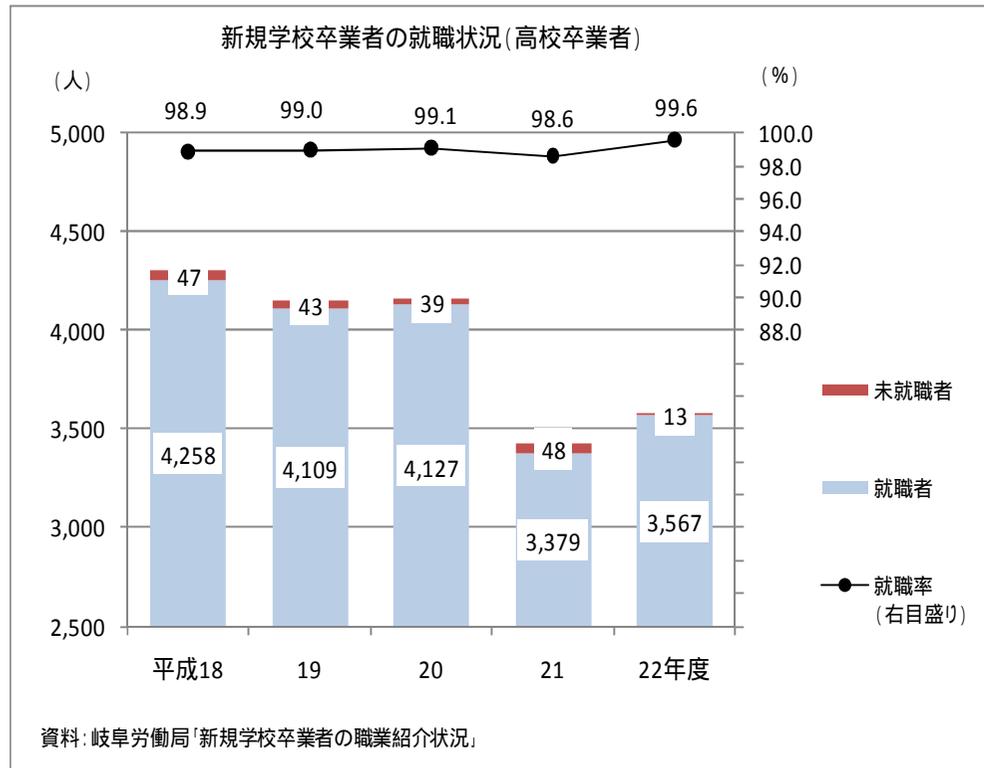
<ハローワーク高山>

求職者数横ばい、求人数は微減。雇用調整助成金、雇用保険受給者数はともに横ばい。

雇 用(高校新卒者の就職)

高校卒業者の就職率は改善傾向。また、就職希望者割合の低下には歯止めがかかったが、依然として低い水準で推移。

平成22年度の未就職者数は13人、就職率は99.6%。
→雇用環境は改善している模様。



現場の動き

<ハローワーク大垣、多治見、関、美濃加茂>

来春卒業予定の高校生の内定率は、上昇している。

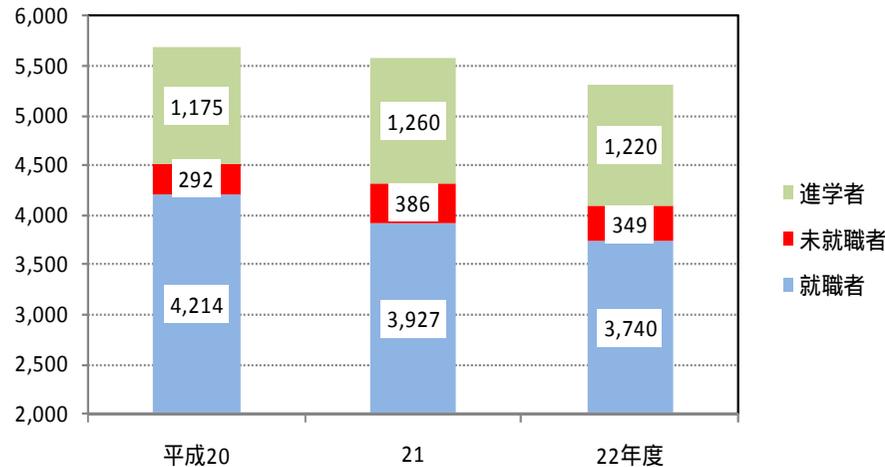
<ハローワーク中津川>

来春卒業予定の高校生について、求人数は微増しているものの、内定率は若干低下している。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

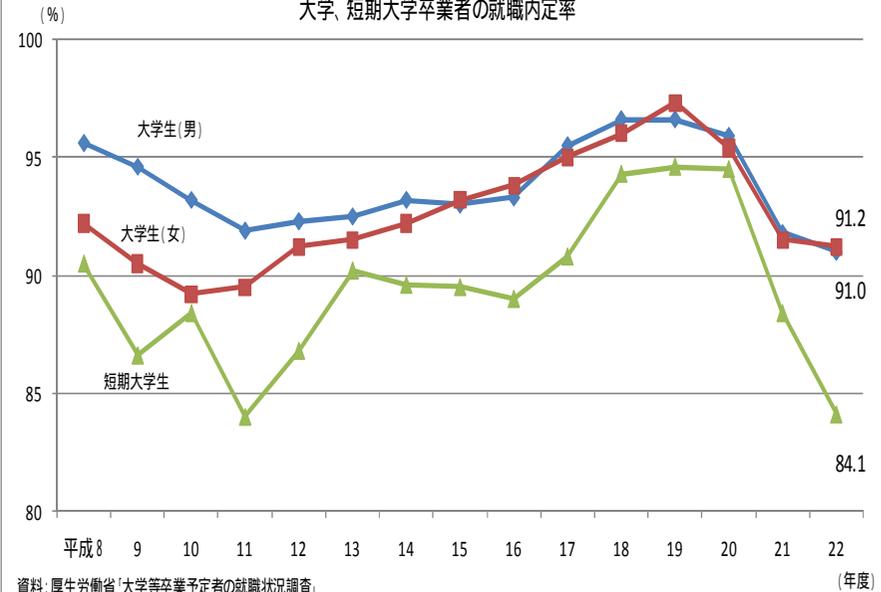
大学・短大卒業者の内定率については、一部下げ止まりの動きが見られるものの、短期大学生を中心に依然として厳しい状況にある。

大学・短大卒業者の進路先 (単位:人)



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

大学、短期大学卒業者の就職内定率 (%)



資料: 厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

【総括】

・愛知県を中心に昨年度と比較して求人が増加しており、内定率も若干上昇している大学が多い。

【岐阜県内の主な大学】

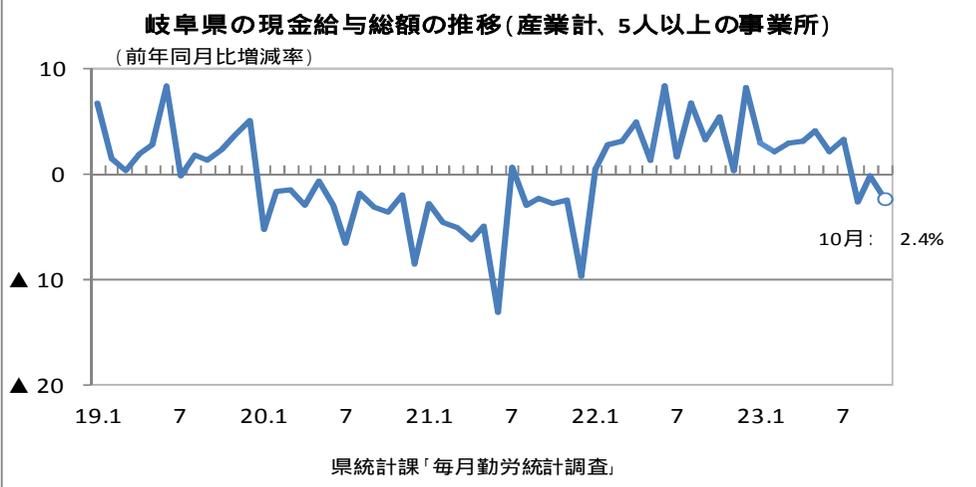
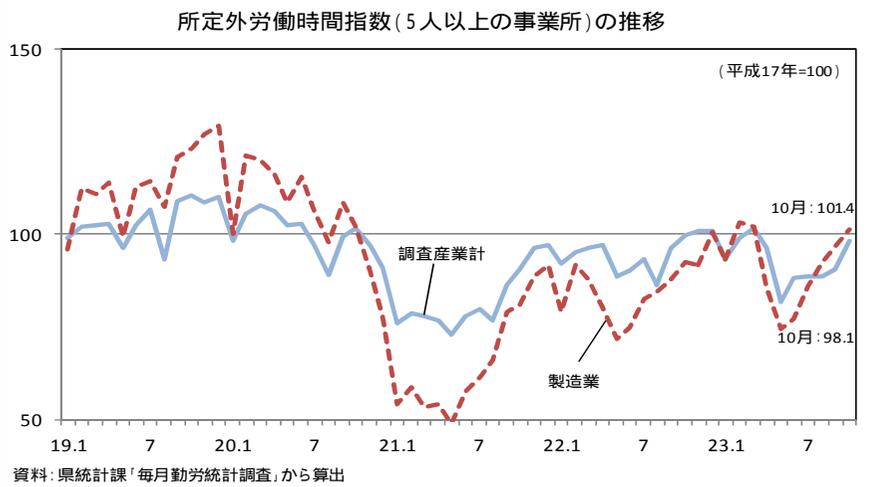
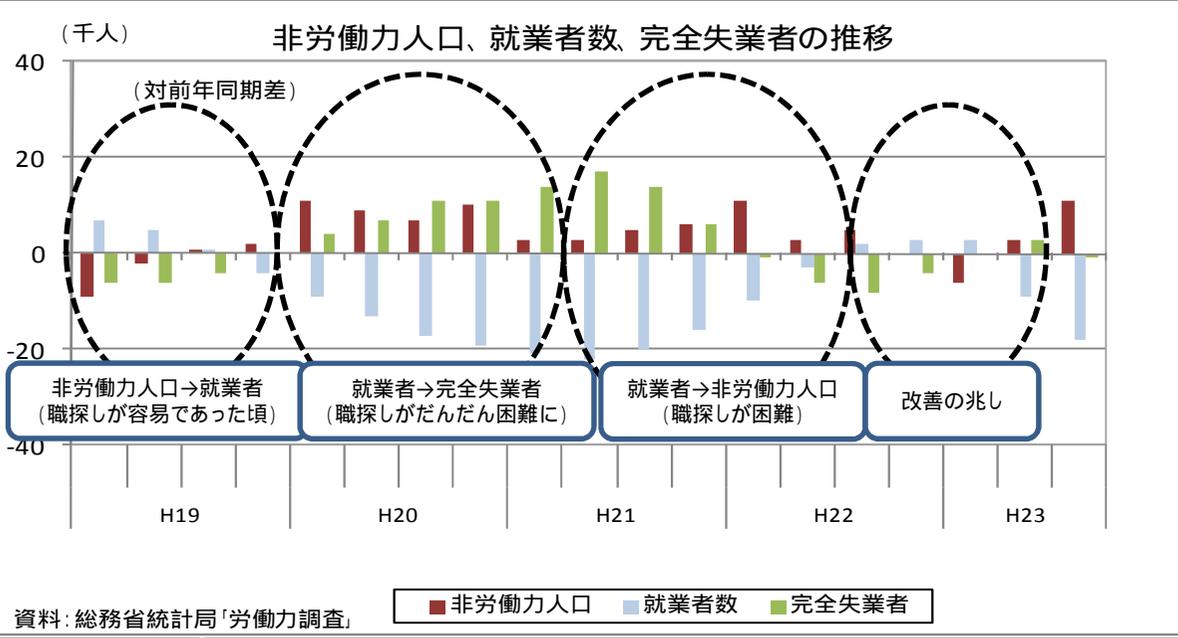
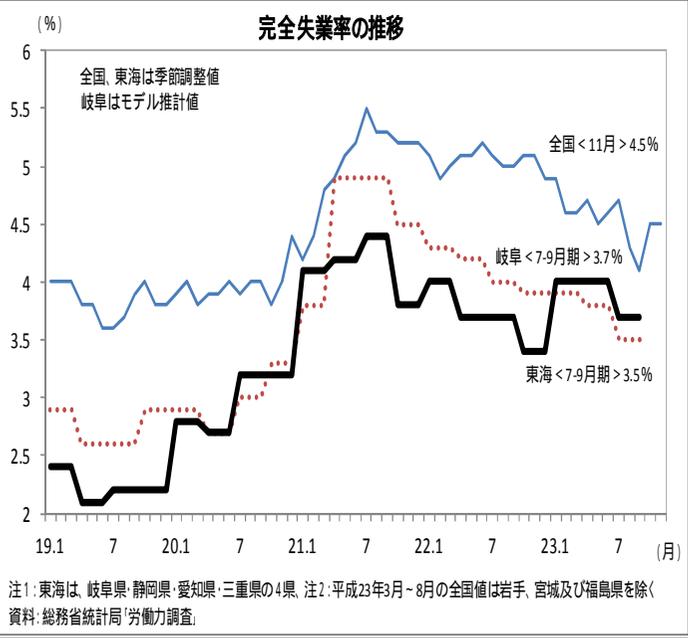
- ・12月末の内定率は、77.6%で昨年度と同程度。
- ・4年制大学の内定率は75%で昨年と同程度。短期大学の内定率は70%で大学と比較して苦戦している。
- ・企業の求人は、名古屋市、豊田市所在の企業を中心に昨年度と比較して増加している。
- ・営業職の求人が多い。

【愛知県内の主な大学】

- ・内定率は8割程度で昨年度より若干高い。
- ・大学3年生を対象にした求人は12%増加している。特に金融機関の求人は倍になっており、サービス業やメーカーの求人も増えている。
- ・内定率は60.7%で昨年度より8ポイント高い。企業からは秋以降も追加募集や一般事務職の求人が来ている。

雇用(完全失業率)

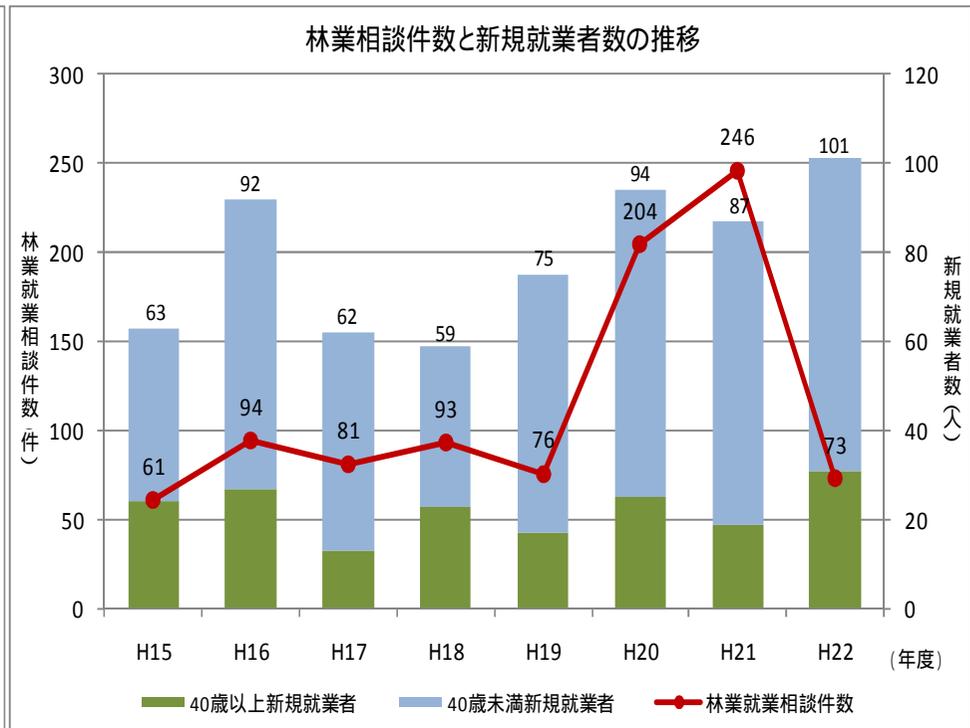
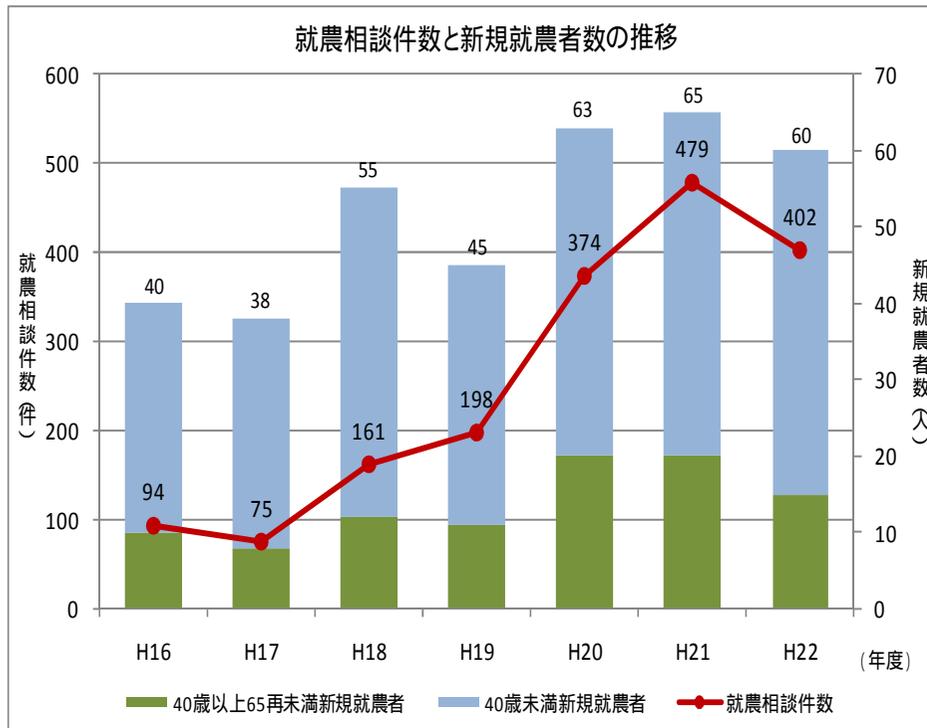
平成23年第 四半期の完全失業率は3.7%と前期より0.3ポイント改善。
 平成21年以降職探しが非常に困難な状況が続いてきたが徐々に緩やかになり、平成22年第 四半期以降は就業者数が前年同期を上回るなど、改善の兆しがみられる。



雇 用(農業・林業)

平成22年度の新規就農者数は60人で減少に転じた。中高年層は全体の25%。

平成22年度の新規就業者数は101件と増加傾向が続いている。一方、林業就業相談件数は73件と急減している。



現場の動き

就農相談者(農業版ジョブカフェ)は増加傾向にあり、21年度の相談件数(479件)は前年度の1.3倍に増加。22年度は402件と前年度より減少したが、農業に限定せず職を求める人の相談が減少したことが要因。

農業法人への就業相談件数は、昨年度までと比較して若干減少傾向が見られるものの、就農相談件数全体の1/4を占めている。

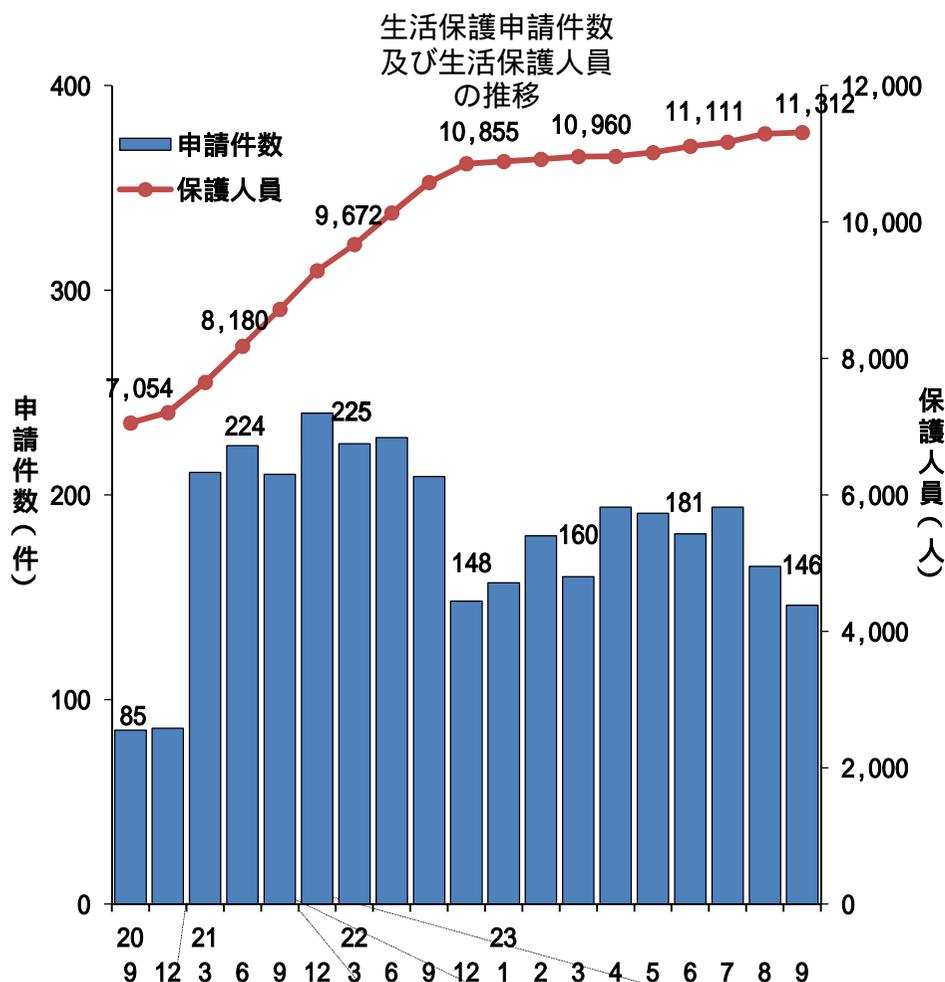
農業以外の分野での求人が若干増加したことから、農業分野へ目を向ける失業者が少なくなったと考えられる。(以上、県農政部)

平成24年度以降は事業量確保が厳しいため、森林技術者を増員する計画はない。(林業事業体)

生活支援に関する各種制度の利用状況

平成21年4月以降は速報値

平成21年3月以降、急激に保護人員が増加し右肩上がり続けてきたが、最近では生活保護申請件数が平準化傾向にある。



2月2日～ 早期決定に向けた運用見直し (入居見積書をもって保護決定、生活扶助費一部支給)

10月～ 住宅手当等申請開始

11月30日 ワンストップ・サービス・デイ 試行(ハローワークぎふ)

12月9日～30日 年末緊急生活相談コーナー、ワンストップ・サービス・デイ等相談体制の強化

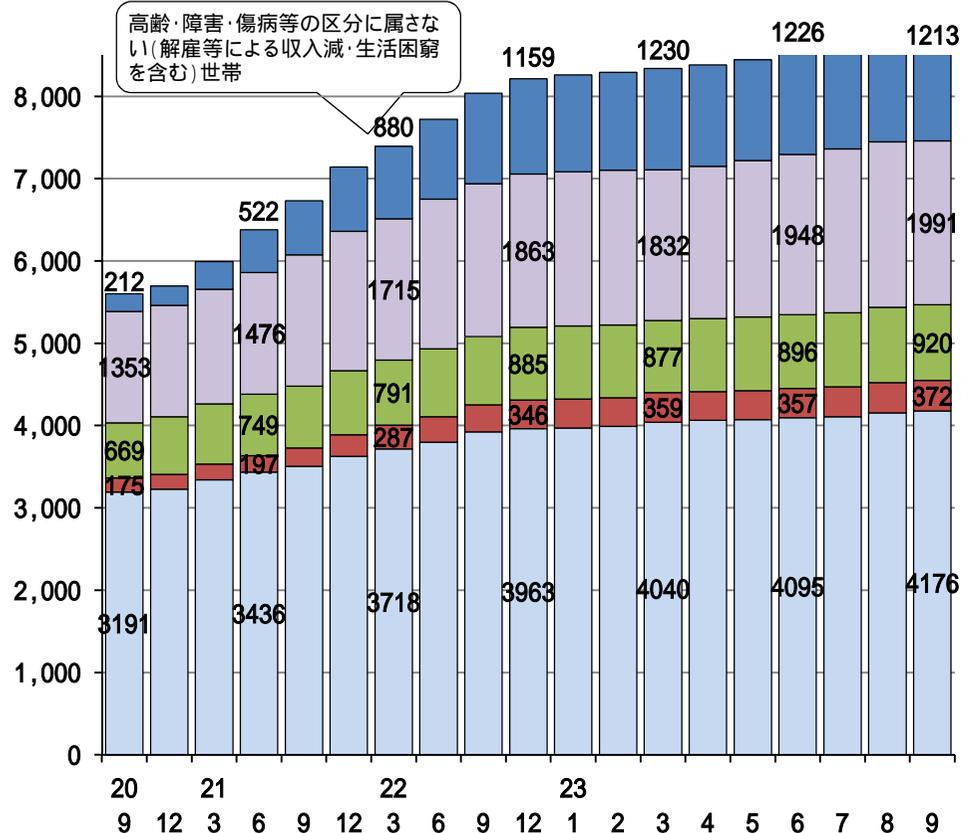
参考: その他の主な支援制度の利用状況 (H21.10 ~ H23.9末累計)

住宅手当	就労能力及び意欲のある離職者の住宅確保への支援。	決定 926件 (合計約 13,215万円)
臨時特例つなぎ資金	離職者支援のための公的給付等を受けるまでの間の資金の貸付。	貸付33件 (合計約265万円)
総合支援資金	失業等により日常生活全般に困難を抱えている方への貸付。 (改正前の「離職者支援資金」は月1～5件で推移)	貸付761件 (合計約4億2072万円)
緊急小口資金	緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった方への貸付。	貸付891件 (合計約7,858万円)

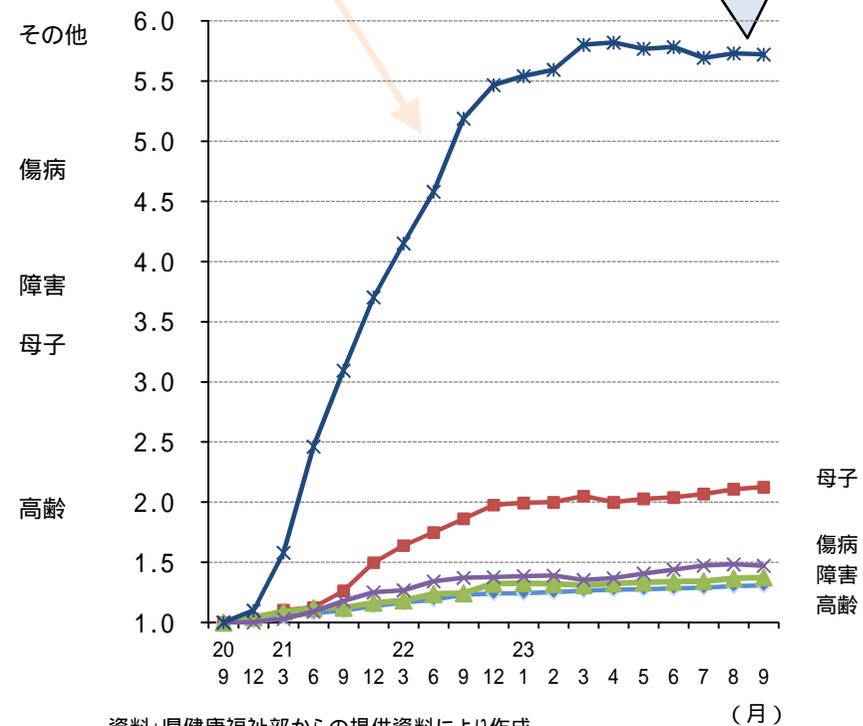
生活保護受給世帯の内訳

解雇等による収入減・生活困窮を理由とした保護世帯(区分「その他」)が急激に増加し、右肩上がり
を続けてきたが、最近はや平準化傾向にある。
ほとんどの世帯区分において増加傾向が見られる。

生活保護受給世帯の推移 (世帯)



生活保護受給世帯の推移
(20年9月を1とした場合の水準)



資料: 県健康福祉部からの提供資料により作成

(月)

母子 21年後半から徐々に増加幅が拡大して
傷病 おり、経済動向の影響が推測される。
障害 この他、制度に関する窓口で周知の効果等
高年齢 も作用している可能性が考えられる。

< 経済・雇用の現状（総括） >

製造業全体では、タイの洪水による影響が一部に残るものの、回復への目途が立ち始めたことから、増産を見込む企業が増加している。はん用機械や生産用機械においては、中国の金融引締め等の影響から受注が減少し始めている。

円高による直接的な被害は限定的だが、プラスの影響はほとんどなく、輸出企業にとって厳しい状況が続いていることから、海外生産へのシフトを検討する企業が増加している。また、それに伴う国内受注の減少や厳しいコストダウン要求が懸念される。

地場産業は、消費意欲の減退や原材料の高騰等が足かせとなっており厳しい状況にある。また、木工業など円高のメリットを受けている業種がある一方で刃物などは円高により利益が減少している。

小売については、総じて持ち直しの動きが見られるものの、消費者の消費行動の変化等から、大型店と商店街の間で景況感に差が現れている。

観光は、インターネット予約が引き続き好調で、年末年始は満室となったところもみられた。インバウンドは旧正月を中心に予約が入るなど緩やかながら持ち直しの動きが続く。雇用面では、景気の先行きが不透明な状況を懸念し、雇用の拡大に慎重な企業の姿勢が目立つ。雇用調整助成金については、4月をピークに収束に向かっている。

企業の資金繰りは、改善傾向が一服し、ほぼ横ばい状態にあるが、新規借入れ需要は依然少ない。